

Y. YABE!

8 0. AUG. 1913

本島製紙業調査書

附清國製紙業地視察録



5

事大圖内
六
書

内閣文庫
七三三三
和書
一冊

585
8

凡例

- 一、本調査ニ於ケル計算ノ單位ハ可成本島ノ舊慣ニ依リタルモノトス
- 一、一元ハ貨幣ノ單位ニシテ地方ニ依リテ異ルモ嘉義地方ニ於テハ第二十八項ニ詳述シタルガ如ク六八銀ニシテ日下其ノ一元ハ金貨ノ九十一錢ニ通用ス
- 一、一角ハ一元ノ十分一ニシテ嘉義地方ニ於テハ十錢銀貨一枚ニ相當ス但シ右十錢銀貨ハ金貨ニ對シテハ無論補助貨トシテ使用セラル、モ六八銀ニ對シテハ殆ソト本位貨ノ如ク通用セラルモノトス
- 一、一石ハ約我五斗六升ニ當ル
- 一、一里ハ一千步ニシテ約我五六町ニ當ル
- 一、一甲ハ我二千九百三十四坪トス
- 一、一工ハ一人一日ノ工程ヲ云フ

一、本書ハ去ル四十年六月黒谷技手ノ提出セル調査復命ニシテ
記事ハ專ラ同時期ノ事實ニ基ク但シ同年末ニ亘ル諸表ハ
後ニ追補シタルモノトス

一、本書附録ハ去ル三十九年眞室幸教氏ノ清國製紙地ニ於テ視
察シタル所ヲ記述セルモノニシテ參考トナルヘキモノ頗ル
多キヲ以テ特ニ同氏ニ乞ヒ茲ニ掲載セルモノトス

明治四十二年三月

殖産局

本島竹紙製造業調査目次

- 一、緒論
- 二、竹林ノ所在地及其面積
- 三、造林法
- 四、經營法
- 五、竹林ノ貸借
- 六、竹林ノ賣買
- 七、筍ノ守衛
- 八、筍ノ賣買
- 九、纖維ノ調製
- 十、解ノ築造
- 十一、引水ノ設備
- 十二、石灰ノ準備
- 十三、筍ノ伐採、切斷、截割及運搬
- 十四、筍ノ砂水
- 十五、石灰ノ掃除及筍ノ再浸水
- 十六、粗纖維ノ賣買

- 十七、製紙場ノ組織
- 十八、製紙機關ノ設備及構造
- 十九、備員ノ食料
- 二十、燈火料及燃料
- 二十一、製紙業
- 二十二、製紙法
- 二十三、包裝法
- 二十四、勞銀支給法
- 二十五、製造部留
- 二十六、生産額
- 二十七、通搬及運賃
- 二十八、販賣法
- 二十九、製紙業者ノ經濟
- 三十、竹紙賣買業
- 三十一、競争品
- 三十二、竹紙製造業ノ將來



紙業調査

一、緒論

ル製紙ノ大部分ヲ占ムル所ノ竹紙ハ主トシテ桂竹ノ節、時トシテハ藤竹ノ節ヲ以テ製
 モニシテ品質劣等ナル粗唐紙ニ屬ス、其ノ種類ハ地合ノ厚薄ト巾及長ノ差違ニ依リテ白
 薄仔、半仿、三粗、大粗、大粗、金古ノ九種ニ區別セラルト雖モ竹肉及大粗ヲ除クノ外皮
 始メト大同小異ニシテ甚シキ徑庭アルヲ見ス、其中白皮ハ地合薄ク巾ハ八寸長ハ二尺二寸
 五枚ヲ一刀トシ六刀ヲ一粒トナスモノニシテ一粒ノ重量ハ十四五斤乃至十六七斤トス大紙
 一名重紙ハ地合稍厚ク巾ハ九寸長ハ一尺五寸五枚ヲ一易トシ二十易ヲ一刀トシ九刀ヲ一支トナスモ
 ノニシテ一支ノ重量ハ約十二斤トス竹肉紙ハ大紙ノ一種ナルヲ以テ其ノ形狀並ニ各級ノ單位ハ大
 紙ト相等シト雖モ元來該品ハ之ヲ製造スルニ先チ竹皮ヲ去リテ其ノ肉ノ用ヲモナシタルモノナルヲ以
 テ其色少シク白ク帯ヒ且ツ其ノ原料ニ多少ノ膠ヲ混和シタルモノナルヲ以テ紙質頗ル堅硬ナルモ
 ノトス、薄仔一名支仔紙ハ地合大紙ヨリモ稍厚ク巾ハ八寸長一尺四寸ノ竹紙ナレトモ其單位並ニ重量
 ハ大紙ニ略ホ相等シ半仿一名仿仔ハ地合薄ク巾七寸五分長一尺一寸五分其ノ單位ハ大紙及薄仔等ニ
 等シト雖モ形小ナルヲ以テ一支ノ重量ハ大紙ノ約半ニシテ略ホ五六斤トス、三粗ハ仿仔ノ小ナル
 者ニシテ巾五寸長九寸其單位ハ前ノ數者ニ等シト雖モ一支ノ重量ハ僅三四斤ニ過キス、大棉ハ地合
 厚ク巾一尺一寸五分長二尺七寸四枚ヲ一易トシ二十五易ヲ一刀トシ五刀ヲ一粒トナス者ニシテ一粒
 ノ重量ハ約二十五斤トス、大粗ハ地合厚ク巾七寸五分長一尺一寸五分其ノ單位ハ大紙及薄仔等ニ

長ハ二尺六寸五枚ヲ一易トシ二十五易ヲ一刀トナスモノニシテ一刀ノ重量ハ約五斤トス、金古一名西金ハ原料ニ萎黄ノ染料ヲ混和シテ澆製シタルモノニシテ、地合ハ半竹ニ等シク形ハ頗ル狭小ニシテ巾ハ三寸七分ニ長ハ九寸七十枚ヲ一刀トシ六刀ヲ一粒トナスモノニシテ一粒ノ重量ハ一斤一分ニ充タス此等ハ舊レモ書齋用ニ堪ヘスト雖モ其ノ用途ハ頗ル廣シ其ノ中白皮ハ金銀紙ヲ作ルニ用井時トシテハ「庫錢」ノ製造用ニモ供セラレ大紙ハ主トシテ細貨ノ包装用ニ供セラレ時トシテハ紙煤ヲ造ルニ用井竹肉紙ハ專ラ包袋ニ使用セラレ薄仔ハ主トシテ銀紙製造ノ原料ニ充テラレ半竹ハ「紙煤」ニ作ラルルカ將タ試用ニ供セラレルモノ三粗ハ半竹ト同一ノ用途ニ消費セラレ大棉ハ藥材ノ包装用ニ供セラレルト同時ニ靴底ニモ用井ラレ大粗ハ主トシテ銀紙ノ製造ニ用井ラレ又時トシテハ水漉用ニ供セラレ金古ハ專ラ「金錢」ヲ作ルニ用井ラレモノニシテ、本島ノ習慣上必須缺クヘカササル商貨ナルヲ以テ縱令其産額尙未タ本島ノ宏大ナル需用ヲ充足スルニ至ラズト雖モ之ニ關スル産業ハ本島ノ經濟ニ影響スル所尠カラサルノミナラス一部ノ地方ニ取リテハ洵ニ其ノ死活問題ニ關ス、是ヲ以テ爰ニ斯業ノ概況ヲ査シ以下其ノ大略ヲ叙シ以テ諸賢ノ參考ニ資ス、

二、竹林ノ所在地及其面積

主トシテ竹紙ノ原料ヲ産出スル所ノ桂竹ハ刺竹ト越チ異ニシテ棘竹ト等シク丘陵若クハ山岳ニ產生シ就中海拔千尺ヨリ四千尺ノ間ニ最モ茂ク生育スルモノトス而シテ其ノ一部ハ宜蘭、基隆、臺北、深坑、桃園、新竹、苗栗、臺中、彰化縣下ノ數小區域ニ小林ヲナシテ點々存在スルニ過キスト雖モ其ノ大部分ハ北、南投廳下ヨリ南、鹽水港廳下ニ亘ル阿里山々系ノ西陲ニ産スルモノニシテ該地方ニ

於テハ鬱蒼タル大叢林ヲナシテ諸處ニ散在ス而シテ斯クノ如キ大叢林ノ分布セル一大地團ノ中心ハ斗六嘉義ノ東端、清水溪並ニ牛稠溪ノ上流、海拔一千尺ヨリ四千尺ノ間ニシテ就中斗六廳下ノ撈水坑、桶頭、樟湖、苦茶脚、大湖底、嘉義廳下ノ龍眼林、水底寮、出水坑、金福寮、大坑、大湖、公田附近ノ如キハ最モ豐茂ナルモノトス右ノ地方ニ在リテハ到ル所四周ノ檜、椎其ノ他ノ雜木林ヲ凌駕シテ蒼然トシテ繁茂シ頗ル壯觀ヲ呈ス之レヨリ下降スレハ龍眼林ノ爲メニ多少侵蝕セラルト雖モ尙ホ其ノ盛大ナル林相ヲ失ハズ然リト雖モ之レヨリ南北ニ隔離スルニ從ヒ漸ク減少シ南投及鹽水港廳管內ニ入ルトキハ比較的稀薄トナル蓋シ竹林ノ所在地ハ略ホ前述ノ如シト雖モ其ノ面積ニ至リテハ果シテ如何ナルヤ明カニ確知スヘカラス唯々地方廳ニ於テ官有ト認メタル竹林ノミハ大凡ソ左ノ如シ

官有桂竹林面積表

廳及堡	庄名	全面積	未利用面積	利用面積	現況	見込本數
宜蘭員山堡	枕頭山庄	八〇〇		八〇〇	密林	二八二〇〇
同	金面庄	五〇〇		五〇〇	疎林	七三三〇〇
同	二圍庄	七〇〇		七〇〇	同	二〇二〇〇
同	福成庄	六〇〇		六〇〇	同	〇五六〇〇
同	接雅林庄	四〇〇		四〇〇	同	五八六〇〇
同	港潭庄	五〇〇		五〇〇	密林	二二二〇〇
同	合興庄	八〇〇		八〇〇	普通林	一七七〇〇

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	五	同	同	同	同	埔	沙	同	同	同	同	同	同	同	同
		城					里	連								
		堡					社	下								
							堡	堡								

長	鹿	大	同	同	同	桃	牛	隘	番	鄉	八	後	中	二	分
寮	嵩	雁	同	同	同	米	相	寮	仔	親	祀	寮	寮	重	水
庄	庄	庄	桃	同	同	坑	剗	庄	寮	寮	仙	庄	庄	溪	寮
			米	食	中	庄	庄	庄	庄	庄	庄	庄	庄	庄	庄
			坑	水	路	草									
				坑	坑	蓋									

〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

密	同	同	同	同	同	疎	疎	疎	同	同	同	至	疎	同
林						林	林	林				疎	林	林

五

〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

同	南	苗	小	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	投	南														

軍	內	管	四	五	石	鱧	向	小	福	橫	北	大	大	梗
功	內	合	十	指	頭	天	東	福	橫	北	大	大	梗	
寮	寮	計	二	份	公	窟	湖	南	背	寮	寮	寮	寮	
庄	庄		山	坑	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	

〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

同	至	寮	同	同	同	同	同	同	同	同	疎	同	密	疎
林	疎	林									疎	林	林	林

四

〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	鯉魚頭堡	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
東勢坑庄	山頂庄	不知春庄	田仔庄	福水坑庄	勞水坑庄	草頭庄	桶頭庄	木瓜源庄	山邊庄	照安庄	鯉魚尾庄	同山坪頂	林內庄	同斗六東	同湖山寮	同椒樹湖						
二五〇〇	二七〇〇	四九〇〇	五九〇〇	八〇〇〇	五三三〇〇	六六〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	六〇〇〇	二五〇〇	三三〇〇	一八〇〇	二二〇〇	二〇〇〇	八〇〇〇	二〇〇〇						
七三〇〇	七六〇〇	三三〇〇	一八〇〇	四一〇〇	四三〇〇	六六〇〇	二〇〇〇	三三〇〇	三三〇〇		一九〇〇											
五三〇〇	五〇〇〇	二七〇〇	四一〇〇	四〇〇〇	八〇〇〇		四八〇〇	二〇〇〇	三三〇〇	二二〇〇	二二〇〇	一八〇〇	二〇〇〇	三〇〇〇	九〇〇〇	一〇〇〇〇						
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同						
一三三三〇〇〇	四三三三〇〇〇	四三三三〇〇〇	四三三三〇〇〇	四三三三〇〇〇	七二八八〇〇	五八七二〇〇	四三三三〇〇〇	五〇〇〇〇〇	六〇〇〇〇〇	二二七八〇〇	七九八七〇〇	一五八二三〇	二〇三三〇〇〇	三三三三〇〇〇	七九八七〇〇	三三三三〇〇〇						

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
同	同	同	同	斗六堡	打貓東頂堡	他里霧堡	同	同	同	同	斗六小	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
攻狎庄	棋盤厝庄	高林仔頭庄	水雅庄	坎頭厝庄	庵古坑庄	苦茶脚庄	太湖底庄	樟湖庄	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
九〇〇〇	八〇〇〇	二〇〇〇	三〇〇〇	五〇〇〇	八〇〇〇	三三〇〇	二〇〇〇	二六六〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二二四九〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	
	〇〇〇〇				二〇〇〇	三五〇〇	一〇〇〇	六六〇〇	二〇〇〇	二七六〇	二〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
六〇〇〇	五〇〇〇	二〇〇〇	三〇〇〇	五〇〇〇	七〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	八七〇〇														
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
五三三三〇〇〇	四三三三〇〇〇	四三三三〇〇〇	四三三三〇〇〇	四三三三〇〇〇	七二八八〇〇	五八七二〇〇	四三三三〇〇〇	五〇〇〇〇〇	六〇〇〇〇〇	二二七八〇〇	七九八七〇〇	一五八二三〇	二〇三三〇〇〇	三三三三〇〇〇	七九八七〇〇	三三三三〇〇〇								



廳名	臺北	桃園	新竹	嘉義	鹽水港	計
面積	1,118	2,556	1,777	9,080	3,773	11,554

之以前記ノ所謂官有林ヲ加フルトキハ左ノ如シ

廳名	宜蘭	臺北	桃園	新竹	苗栗	南投	斗六	嘉義	鹽水港	計
面積	7,500	1,018	2,556	1,777	1,000	11,000	1,000	1,000	1,000	37,773

更ニ之ニ民有ニ屬スルモノニシテ製紙以外ニ利用セラルルモノト未ダ全ク利用セラレサルモノトヲ合算スルトキハ其面積頗ル廣大ニシテ嘉義廳ノ竹林ノミニテモ約三千餘甲斗六廳ノ竹林ニ至リテハ更ニ之ニ倍シテ六千餘甲歩ニ達スルヲ以テ本島ノ全面積ハ少クモ一萬甲以上ニシテ或ハ一萬三千甲ニモ達スヘシ蓋シ全体ノ面積ハ他日調査スル所アルヘシ

三、造林法

桂竹林ヲ仕立テント欲スルトキハ先ツ以テ山地ノ叢及雜草ヲ除去セサルヘカラス之ヲ除去スルニハ一旦之ヲ燒キ拂ヒ然ル後鎌ヲ以テ燒ケ殘リタル叢並ニ草幹ヲ刈除スルモノトス之ニ要スル勞力ハ該地ニ遠スル距離ノ遠近ト叢及雜草ノ多寡ニ依リ等シカラス出水坑附近ノ如キ高地ニ在リテ然カモ遠距離ニアラスハ餘地ヲ有セサル所ニテハ方百歩ニシテ十人ヲ要スト雖モ梅仔坑附近ノ愛

寮庄ノ如ク比較的低地ニ在リテ近隣ニ潁林シ得ヘキ所ニ於テハ方百歩ニ付四工ヲ要スルニ過キス斯クノ如クニシテ耕地ノ終ラハ附新林ヨリ種竹ヲ掘出シ之ヲ潁林スヘキ豫定地ニ運致シ各々相當ノ間隙ヲ置キテ移植スルモノトス其ノ間隙ハ造林者ノ思惑ニ依リテ等シカラス十歩ニ一株ヲ植ユルトキハ十五年ヲ經過セザレハ普通ノ竹林トナルコト能ハスト雖モ四五歩ニ一株ヲ植ユルトキハ七八年若クハ十一二年ニシテ成林スト云フ移植ニ要スル勞力モ距離ノ長短ニ依リテ相違ス約五百歩ノ距離ニ在リテハ一日ニ僅カ四株ヲ移植シ得ルニ過キスト雖モ五百歩以内ノ地ニ在リテハ二十五株乃至三十株ヲ移植シ得ヘシト云フ斯クノ如クニシテ移植シタルモノハ天候其ノ他ノ事情ニ依リ全然生育スルコト稀ニシテ十株ニ付二株ハ枯死凋落スルヲ常トスト雖モ其ノ他ノモノハ漸次繁殖シテ五ヶ年ヲ經過スレハ多少ノ製紙原料ヲ産出スルニ至ルト云フ

四、竹林經營法

竹林ノ經營ニ關スルニ般ノ注意ハ固トヨリ不行届ニシテ中ニハ熱帶地方特有ノ下草生ヒ茂リテ容易ニ出入スヘカフサルノミナラス竹幹ノ發育ヲ妨害シ竹紙ノ原料タル筍ノ發生ヲモ阻碍スルコト少カフサルモノ之レナキニアラスト雖モ竹製紙業ヲ營ム地方ニ在リテハ各々多少ノ手入ヲ施ササルモノナシ殊ニ製紙業ノ最モ旺盛ナル嘉義廳下ノ冷水坑、大半天寮、出水坑、金福寮、太湖庄附近ニ在リテハ其ノ手入方比較的良好ニシテ所ニ依リテハ殆ソト下草ヲ見サルモノアリ手入ノ季節ハ普通陰曆ノ年末ナレトモ時トシテ正月ナルアリ冷水坑及出水坑ノ如ク製紙ヲ以テ主業トナス所ニ於テハ三年ニ一回大凡ソ前記ノ季節ニ入リ施コスト雖モ其ノ他ノ地方ニ在リテハ隨時農閑ヲ利用シテ之ヲ

行ハ大半天寮ノ如キハ特ニ手入ヲナスコトナク毎年箱伐採ノ序ヲ以テ手入ヲナスモノトス其ノ方法ハ雜草ヲ刈除シ細クシテ且ツ發達ノ不長ナル竹若クハ五六歳以上ノ老竹ヲ除去スルニ依リ此操業ハ多ク家人並ニ日備ヲ以テ之ヲ行フモノニシテ之ニ要スル工數ハ精粗ニ依リテ固トヨリ等シカラス樟樹坪、愛寮其ノ他ノ普通ノ製紙業地ニ在リテハ斯業ヲ以テ副業トナスモノナルヲ以テ手入モ從テ密ナラスシテ百擔(實重約六千斤)ノ箱ヲ産出スヘキ地域ノ手入ハ二工半乃至三工ニ過キスト雖モ出水坑、金籬寮、冷水坑等ノ如キ本業ヲ以テ主業トナス所ニ於テハ同一ノ面積ニ對シ約十工ヲ要スト云フ

五、竹林ノ貸借

桂竹林ノ貸借ハ製紙業地ニ於テ屢々行ハルル所ニシテ其ノ期間ハ通常二年若クハ五年ニシテ十ヶ年ノ貸借ハ寧ロ稀ナルカ如シ其ノ契約期日ハ地方ニ依リテ異リ樟樹坪ニ於テハ通常陰曆ノ正月若クハ二月ニシテ金籬寮ニ於テハ十月ヲ常トシ愛寮及大半天寮ニ於テハ普通二月ヲ以テ期トナス要ハ次期ノ箱ノ發生以前ニ契約スルニ在リ其ノ借料ハ年所ニ依リテ異レトモ當今樟樹坪ニ於テ百擔ノ箱ヲ産出スヘキ竹林ニ在リテハ五ヶ年ニ五十元愛寮ニ於テ百擔ノ箱ヲ産出スヘキ竹林ニ三ヶ年間貸借スルニ一ヶ年賦三元ニシテ大半天寮ニ於テ百擔ノ箱ヲ産出スル竹林ヲ計ト共ニ十ヶ年間借入レタルモノハ一ヶ年ニ二元ニツツ支拂ヘリ要スルニ百擔ノ箱ヲ産出スル竹林ノ借料ハ通常一ヶ年二元乃至二元五角ニシテ高クモ三元ヲ超ヘス廉キハ一元以内ノモノモ稀ニハ之レアルカ如シ其ノ借料ハ契約ノ如何ニ依リ或ハ一時納付ノモノモアレト多クハ年賦ヲ以テス其ノ納入期日ハ通常三月ヨリ五月ニ至ルノ間ニシテ總テ

箱ノ伐採以前トス斯クノ如クニシテ借入レタル竹林ハ借主ニ於テ其ノ地ノ習慣ニ從ヒ三年ニ一回五年ニ一回若クハ毎年之レカ手入ヲ爲スモノトス

六、竹林ノ賣買

桂竹林ノ賣買ハ孰レノ地方ニ於テモ貸借ノ如ク屢々行ハルルコト頗ル稀ナルヲ以テ其ノ方法ニ於テモ一定ノ慣行ナキノミナラス其ノ相場ニ於テモ一定ノ標準アルナシ然リト雖モ若シモ百担計ノ箱ヲ産出スル竹林ニシテ賣買セラルトスレハ六七元ノ見當ナルヘシト云フ

七、箱ノ守衛

自個ノ所有ニ屬スルト他人ヨリ借入レタルトテ間ハス既ニ前述ノ如ク造林シテ五ヶ年以上ヲ經過シタル桂竹林ニ在リテハ毎年陰曆三月ニ至レハ製紙ノ原料タル箱ノ幼莖ヲ發生ス之レヨリ約四五十日ヲ經過スレハ初メテ製紙ノ原料トシテ伐採シ得ヘシ出水坑、金籬寮等ノ如キ竹林ノ豐富ナル所ニ在リテハ其ノ儘ニ放置シテ敢テ之レカ監視チナスモノナク食用トシテ翫取スル位ハ默許シテ之ヲ谷ムルコトナシト雖モ竹林ノ乏シキ地方ニ在リテハ十日乃至一ヶ月間必ス守衛ヲ置キテ盜伐ヲ監視ス樟樹坪ニ在テハ十二三日間之ヲ守衛シ同地ニ於テ千担ノ箱ヲ産出スル竹林ヲ監守スルニハ備切リノ人夫一人ヲ要スト云フ愛寮ニ在リテハ一ヶ月之ヲ監視シ同地ニ於テ三百五十担ヲ産出スル竹林ヲ監守スルニ別ニ人ヲ備人ルルコトナク家人之ニ任シテ一日ニ二三回其ノ竹林ヲ巡回スルニ過キス斯クノ如クニシテ窃盜ヲ發見シタルトキハ窃盜其ノ者ノ如何ニ依リ相當ノ處置ヲ探ルモノトス若シ該窃盜

一四
 他村ノ者ナルトキハ之ヲ官衙ニ訴フト雖モ若シ同村ノ者ナルトキハ他ノ農産物ヲ買取シタル
 場合ト等シク之レニ二元ノ罰金ヲ課シ其ノ竹林ニシテ他ヨリ借入レタルモノナルトキハ其ノ借料ヲ
 モ負擔セシムルモノトス

八、筍ノ賣買

竹紙ヲ製造スルニ自個ノ所有者ハ借入レニ係ル竹林ニ産出スル原料ノミヲ以テ不足ヲ感スルコト
 甚カクサレテ以テ筍ノ賣買ハ製紙業地ニ於テ一般ニ行ハルル所ナリ斯クノ如キハ貸借ノ場合ト等シ
 ヲ目分量ヲ以テ其處ニ發生セル筍ノ數量ヲ見定ムルカ將タ伐採シタル數量ヲ推測シ其ノ數量ニ應ジ
 テ其ノ價額ヲ定ムルモノトス而シテ其ノ價格ハ地方ニ依リテ多少ノ相異アルト共ニ遠近ニ依リテモ
 亦不同アリ金剛嶽ニ於テハ一元ニ三十担内外出水坑ニ於テハ百担ニ付キ近キハ三元遠キハ二元零
 ニ於テハ一元ニ二十五担内外トス一担ノ實量ハ所ニ依リテ等シカラス榎樹坪、様仔峯、金剛嶽等
 在リテハ一担六十斤内外ニシテ出水坑ニ在リテハ七十五斤内外トス

九、纖維ノ調製

竹紙ヲ漉造スルニハ先ツ以テ纖維即チ竹糸ヲ調製セサルヘカラス然リト雖モ製業者ハ必スシモ纖
 維ノ調製ヲ行フモノニアラスシテ製紙業ノ旺盛ナル所ニ在リテハ竹林ノ所有者ニシテ販賣ノ日
 以テ纖維ノ調製ヲノミ營ムモノ少カラス之ヲ調製スルニ先チ竹ノ組織ヲ崩解シテ其ノ纖維ヲ分離ス
 ル所ノ溶解池即チ解ノ裝置ヲ必要トスルハ勿論引水ノ設備並ニ石灰ノ準備ヲモチササルヘカラス

ノミナラス此ノ作業ニ從事スルニ當リテハ必要ニ應ジ相當ノ入夫ヲ僱入セサルヘカラス之ニ要スル
 勞力ハ事業ノ性質上開始以來引續キ使用スルコト能ハサルヲ以テ隨時之ヲ僱入ルルモノニシテ其ノ
 賃銀ハ操業ノ性質ニ依リ依勞支給ナルモノアリト雖モ多クハ自割計算トス

十、斛ノ築造

筍ヲ浸蝕スヘキ溜地即チ斛ヲ築造スルニハ傾斜地ヲ地均シテ再三搗キ固メタル後之ニ大ナル穴ヲ掘
 リ其ノ周圍並ニ底ニハ石ヲ疊ミ然ル後之ヲ覆フニ漆喰ヲ以テシ低地ニ向ヘル底ニハ小孔ヲ穿キ必要
 ニ應ジ水ヲ排出スルニ便スルモノトス其ノ容積ハ地方ニ依リテ相異セリト雖モ嘉義廳管内ニ於テハ
 大凡ソ一定セリ巾ハ通常二尋ニシテ深サハ一尋トス長サハ百五十担入ニ於テ三尋二百担入ニ於テ四
 尋二百五十担入ニ於テ五尋三百担入ニ於テ六尋トス五百担入ハ其ノ最も大ナルモノニシテ斯クノ如
 キハ巾三尋ニ長サ七尋トス其ノ築造費ハ一尋立方ニ付滿國時代ニ在リテハ二元内外ナリシニ現
 今ハ勞銀及石灰ノ價格不廉ナルヲ以テ四元内外ナリト云フ
 而シテ本島ニ於ケル斛ノ數及其坪數ハ大凡ソ左ノ如シ

島内斛數及其坪數表

廳名	堡名	街庄名	個數	坪數	廳名	堡名	街庄名	個數	坪數
臺北	大加蚋	蘇厝 江福街	三	一四四	同	同	同 土名大	三	二八〇
同	八里坌	塔寮坑庄 土名新街	一〇	八七三	小計	同	同	三三	一一二〇

設備費ハ水源ノ遠近ニ依リテ等シカラスト雖モ千歩以外ヨリ水ヲ引クニハ少クモ十工ヲ要シ五百歩内外ヨリハ約六工ヲ要スト云フ之レガ修理ニ亦少クトモ一工ヲ要スヘシ

十二、石灰ノ準備

箱ノ浸水法ニ種アリ一ハ淡水漬法ニシテ他ハ石灰漬法トナス前者ハ質紙類ノ原料ヲ作ルニ用ユル方法ニシテ嘉義模範製紙場ニ於テモ之ヲ試ミタルコトアレトモ本島ニ於テハ全ク此ノ慣行ナク專ラ後者ニ依リテ箱ヲ處理スルカ故ニ是非トモ石灰ノ準備ヲ要ス其ノ量ハ纖維調製者ノ思惑ニ依リテ異レリト雖モ箱百担ニ付少クモ五百斤ヲ下ラサ多キハ八九百斤ニ及フ嘉義廳以外ノ各製紙場ニ於テハ最寄市場ニ就キテ之ヲ購入スルモ嘉義廳下ノ製紙業地ニ於テハ之ヲ八獎溪ノ上流一帯ノ原産地ニ仕入レ然ル後自費ヲ以テ之ヲ自家ニ引取ルヲ常トスルカ如シ

抑モ同屬下公田庄附近ニ在リテハ豐富ナル石灰石層ヲ有スルヲ以テ該品ヲ産出スルコト最モ多キハ輪ナク同石層ノ崩壞シテ流下セル所ニ於テハ各々多少ノ産出之レナキハナシ是ヲ以テ需用者ハ便同ノ地ニ就キテ之ヲ購入ス樟樹坪、金獅寮、出水坑等ニ於テハ之ヲ公田庄ニ買入ルルモノニシテ其ノ原價一車即チ一千斤ニ付八元之ヲ運搬スルニ樟樹坪マテハ十元、金獅寮マテハ十四元、出水坑マテハ十六元トス愛寮及大半天寮附近ニ於テハ之ヲ大樟脚、梘竹脚若クハ社寮金ニ仕入レ其ノ原價ハ十二元ニシテ之ヲ運搬スルニ愛寮マテハ十元、大半天寮マテハ十一元ナリト云フ

斯クシテ仕入レタルモノハ一旦之ヲ貯藏所ニ藏ス貯藏所ハ多ク貯所在地ノ附近ニ築造スルモノニシテ其ノ構造ハ路傍ノ「宙仔」ノ如ク三面石ニテ疊ミ一面板ニテ蓋キ其上ニ竹製ノ屋根ヲ架シタルモノ

十三、箱ノ伐採、切斷、截割及運搬

ニシテ其ノ種坪ハ一坪内外トス之ヲ築造スルニ七八工ヲ要スルヲ以テ其ノ價額ハ三四元トス

前述ノ如ク製紙ノ原料タル箱ハ毎年陰曆三月上旬ヨリ中旬ニ亘リテ發生シ其レヨリ約五十日ヲ經過シテ四月中旬若クハ下旬ニ達スレハ枝三四本ヲ開クニ至ルヘシ是ニ於テ纖維調製者ハ人夫ヲ使役シテ根元ヨリ之ヲ伐採シテ集收シ更ニ之ヲ四尺八九寸ノ長サニ切斷シタル後小ナルモノハ二ツ割大ナルモノハ四ツ割トナシ然ル後同一ノ人夫若クハ他ノ人夫ヲ以テ之ヲ三十斤若クハ三十五斤ノ重サニ捆束シテ斜ト稱スル分解池ノ傍ニ運搬セシムルモノトス伐採及拾集ニ要スル工數ハ孰レノ地方ニ於テモ百担ニ付上手ハ二工乃至三工下手ハ三工乃至四工ニシテ切斷及截割ニ要スル工數モ略ホ之ニ等シ然リト雖モ此ノ作業ハ多ク同一ノ人夫ニ依リテ行ハルル所ナルヲ以テ兩者ヲ通スルトキハ百担ニ付六七工ヲ要ス若シモ運搬ヲ別ニシテ伐採、集收、切斷及截割ヲ受負ハシムルトキハ百担ニ付約三元トス之ヲ運搬スルニハ距離ノ遠近阪路ノ緩急ニ依リテ各々差等アリ出水坑ニ於テ一里即チ千歩ヲ隔ツル所ヲ運搬スルニ一担三錢二里ノ距離ヲ運搬スルニ六錢ヲ要シ樟樹坪ニ於テ二里ヲ運搬スルニ十担ニ付一錢ヲ要シ一担ニ五錢ヲ給シ愛寮ニ在リテ五百歩ノ距離ニ於テハ四十担ニ付一担ニ一錢ヲ給シ六里ノ距離ニ於テハ六七担ニ付一担ニ七錢ヲ要シ大半天寮ニ在リテ一里ヲ距ル所ニ於テハ一担ニ三錢ヲ要スト云フ若シ夫レ伐採ヨリ運搬マテヲ受負ハシムルトキハ百担ニ付一里内外ニ在リテハ十一工、二三里ニ在リテハ十五工乃至二十工ヲ要シ其ノ受負賃ハ一里内外ニ在リテ六七元二三里ニ在リテ八九元乃至十一二元トス

十四、筍ノ浸水

前述ノ如ク既ニ解ノ裝置アリ引水ノ用意アリ而シテ原料タル筍ノ運搬ヲ終リタルトキハ直チニ浸水ニ取リ掛ルモノトス其ノ方法ハ先ツ以テ解幅ニ相當スル長サノ丸太ヲ三四尺隔キニ横タヘ更ニ其上ニ交叉シテ老竹數條ヲ横タヘ然ル後半担ツツ束ヲタル原料ヲ巾ニ尋ノ解ニ在リテハ二列ニ三尋ノ解ニ在リテハ三列ニ敷キテ之ニ石灰ヲ散布シ然ル後再ヒ原料ヲ敷キテ石灰ヲ散布シ解相當ノ量ニ充ツル迄同一ノ作業ヲ繰返シテ之ヲ堆積シ了レハ其ノ上ヲ樹皮又ハ樹葉ニテ覆ヒ更ニ其上ヲ長キ割竹ニテ押ヘ又其ノ上ヲ石ニテ壓抑シタル後之ニ水ヲ注キテ之ヲ充タスモノトス之ニ要スル人夫ハ專ラ日傭ニシテ百担ニ要スル工數ハ一工乃至二工半ニ百担入ノ解一個ニ付二工乃至三工ナルヲ以テ百担ニ要スル費用ハ六角乃至八角トス然リ而シテ筍ニ對スル石灰ノ量ハ製造スヘキ紙ノ品質並ニ調製者ノ流義ニ依リテ多少異レトモ樟樹坪並ニ金羅等ニ於テハ白皮ヲ造ルニ百担ノ筍ニ對シ五百斤ノ石灰ヲ用ニ出水坑ニ於テハ六百斤乃至七百斤ヲ用ニ愛察及大半天寮ニ於テハ半竹若クハ大紙ヲ製造スルモノスラ八百斤乃至九百斤ヲ用ユト云フ

十五、石灰ノ掃除及再浸水

前記ノ如ク筍ヲ石灰水ニ浸タシテ放置スルコト約二ヶ月ナルトキハ筍ハ其ノ作用ニ依リテ多少腐蝕スヘシ是ニ於テ解ノ底部ニ裝置セル排水口ヲ開キテ汚水ヲ排出シテ一旦解ノ外ニ筍ヲ取り出セハ他ノ人夫ハ解ヲ以テ筍ノ間ニ挾メル石灰ヲ掻キ離シタル後其束ヲ縦ニシ或ハ其上端ヲ以テ地面ヲ搦キ

或ハ又之ヲ逆ニシテ同一ノ作業ヲ繰返シ以テ内部ニ挾メル石灰ヲ拂ヒ落トスヲ以テ其間前ノ人夫ハ解ヲ洗滌シ然ル後掃除ヲ終リタル筍ヲ再ヒ解中ニ堆積シテ之ニ水ヲ注キ入レ而シテ水ノ豊富ナル所ニ在リテハ毎日一回水ノ乏シキ所ニ在リテハ十日ニ五回即チ二日ニ一回ツツ收水シ前者ハ都合十回後者ハ五回收水ヲ繰返スモノトス此ノ作業中水及筍ノ出シ入レ並ニ解ノ洗滌ヲナスモノハ石灰ノ掃除ヲナスモノト業ヲ分ツテ常トス前者ハ日傭ニシテ二百担入ノ解ヲ處理スルニ四五工ヲ要スルヲ以テ原料百担ニ付一元二三角乃至一元四五角ヲ要シ後者ハ全ク諸負作業ニシテ一担ニ付七八厘乃至一點一日ノ掃除量ハ約五六十担ナリト云フ

十六、粗纖維ノ賣買

前項ノ如ク處理シ終リテ約二ヶ月ヲ經過スルトキハ製紙ノ準備ニ取掛ルヲ通例トナスト雖モ嘉義廳管内ニ於テハ解ノミヲ有シテ製紙場ヲ備ヘサルモノ之レアルト同時ニ製紙場ヲ備フルモノ解ノ設備不足ナルモノ之レアルヲ以テ浸水ノ儘賣買ノ目的物トナスモノ亦稀ナラス其ノ價格ハ原料百担ニ付三十元内外トス而シテ其ノ原料ヲ測定スルニハ大凡ソノ見當ヲ以テスルモアレトモ普通ハ製紙ヲ標準トシテ原料ヲ測定シ然ル後其ノ價額ヲ計出スルモノトス斯ル場合ノ代金ハ一部ヲ製紙前ニ仕拂ヒ其他ヲ製紙後ニ皆済スルヲ例トス

十七、製紙場ノ組織

製紙業ハ悉ク個人事業ニシテ製糖業若クハ回漕業ニ於ケルカ如ク組合ヲ以テ經營スルモノ殆ント之

ナキカ如シ而シテ本業ヲ營ムハ大凡ソ他ノ業ヲモ兼營スト雖モ之ヲ以テ主業トナスモノト副業トナスモノトノ二種アリ海拔二千尺以上ニ在リテ耕作スヘキ田園ナク採收スヘキ果樹ニ乏シキ地ニ在リテハ之ヲ主業トナスモノ多ク二千尺以下ニ在リテ耕作スヘキ田園ナク採收スヘキ果樹ニ乏シキ地ニ在リテハ之ヲ副業トシテ其ノ規模比較的宏大ナルヲ以テ自ラ其ノ製造ノ指揮監督ヲナスモノ少クシテ多クハ司阜頭即チ職人頭ニ受負ハシムルモノ多シト雖モ副業地ニ在リテハ乾燥室ヲ有スルモノ少クシテ規模ノ狭小ナルモノ多キヲ以テ該事業ヲ司阜頭ニ委スルモノ少クシテ自ラ監督スルモノ多シ而シテ製紙場ハ規模ノ如何ナクハ相當ノ職工即チ司阜ト附屬僱員即チ小工トヲ要スル員數ハ規模ノ大小ニ依リテ異レトモ乾燥室ヲ有セスシテ主トシテ省等ノ紙ヲ製造スル工場ニ在リテハ石輪仔一個ニ付水槽二個ヲ有シ水槽一個ニ付司阜一人ヲ要シ司阜一人ニ付小工二名ヲ要スルヲ以テ普通小規模ノ工場ニハ司阜二人ト小工四人ヲ有スルニ過キスト雖モ規模比較的大ニシテ乾燥室ヲ備フルモノニ在リテハ焙灶一棟ニ付石輪仔二個水槽三個若クハ四個ノ割ニシテ濾方並ニ乾燥方ハ多ク晝夜兼行ナルヲ以テ水槽一個ニ付焙紙司阜二人小工二人焙灶一棟ニ付焙紙司阜二人ノ割合ナリ是ヲ以テ焙灶一棟ト水槽三個ヲ有スル製紙場ニ在リテハ焙紙司阜二人焙紙司阜六人小工六人ノ外食料ヲ給與スル場合ハ賄方一人ヲ要スルノミナラス薪採取事務トスル僱員ヲ使用スルヲ當トス

十八、製紙機關ノ設備及構造

竹紙ヲ製造スルニハ先ツ以テ解ヨリ取出シタル粗纖維即チ青竹糸ヲ壓搾スル所ノ器械ヲ解ノ傍若ク

ハ石輪仔ノ側ニ裝置スルヲ要ス其ノ壓搾器ハ生紙ノ其レト略ホ相等シト雖モ材料少シク粗ナルカ如シ其ノ構造ハ一方ニ長サ一間許ノ二本ノ木柱ヲ樹立シ頂邊ヨリ一尺許ノ所ト二尺五寸許ノ所ニ橫貫キヲ施シテ井字形トナシ然ル後其ノ木柱ニ直角ヲナシテ二本ノ平行セル橫柱ヲ地上ニ接シテ橫置シ其ノ一端ニ於テ固ク井字形ノ縱柱ニ緊着セシメ其ノ他端ニハ一尺許ノ直立セル木片ヲ樹立シ之ニ轆轤ヲ仕付ケタルモノニシテ壓搾スヘキ物品ヲ積載セシメハ井字形ノ縱柱ノ下ニ厚キ板アリ其ノ上ニ粗纖維ヲ堆積シテ之ヲ壓搾セシメハ更ニ其ノ上ニ板ヲ載セ板ノ上ニ三本ノ細キ木片ヲ敷キ其ノ上ニ大ナル木片ヲ架シ然ル後長サ七八尺許ノ圓柱ヲ又其ノ上ニ橫ヘタル後其ノ一端ヲ井字形ノ桁ノ上ナル橫木ノ下ニ通シテ之ヲ支ヘ他端ニ索繩ヲ捲キ付ケ更ニ之ヲ轆轤ニ纏ヒテ其ノ圓柱ヲ下方ニ引締ムルト同時ニ粗纖維ヲ壓下シテ第一回ノ壓搾ヲ終リタルトキハ更ニ其ノ圓柱ヲ井字形ノ桁ノ第二回目ノ橫貫キノ下ニ通シテ其ノ一端ヲ支ヘタル後前述ノ作業ヲ繰リ返ヘシテ再度壓搾スルノ仕掛トス此ノ器械ヲ新調スルニ約二十工ヲ要スルカ故ニ其ノ價十一二元トス此ノ工程ニ使用スル壓搾器ハ普通一製紙場ニ一個トス

作業ノ順序ニ依リ其ノ次ニ必要ナルハ石輪仔トス這ハ即チ歐米式ノびーたーノ一部ノ作業ヲナスモノニシテ其ノ構造ハ本島ノ製油場ニ於ケル破碎器ニ彷彿セリ之ヲ裝置スルニハ本島ノ牛舎ノ如ク壁ナクシテ屋根ノミヲ有スル小舎ノ内ニ直徑六七尺許ニシテ深七八寸許ナル圓キ凹處ヲ作り其ノ周圍ノ縁ヲ石ニテ澱ミ底ヲ漆喰ニテ固メ其ノ中央ニ細キ圓柱ヲ樹立シテ地上ニ二尺許ヲ現ハシ然ル後周圍ニ磨目ヲ刻ミ直徑一尺二三寸ニシテ幅一尺四五寸許ノ石車ヲ挟メル且字形ノ木框ノ短キ桁ノ一端ニ相當ノ孔ヲ穿ナテ前記ノ圓柱ヲ該メ之ニ反對セル長キ桁ニハ黃牛ヲ繫束スヘキモノニシテ若シ其

二四

ノ下ニ粗織維キ置キ之ニ片目ヲ散ヘル黃牛ヲ驅東シテ之ヲ驅リ糶ヘス破碎場ノ周圍ヲ巡行セシムル
トキハ石車ハ同轉シテ糶キニ壓搾シタル粗織維ヲ破碎スルノ裝置トス而シテ小規模ノ製造場ニ在リ
テハ一臺ノ石輪仔ヲ裝置シ大規模ノモノハ二臺ヲ備フルヲ常トス黃牛ハ一臺ニ付一匹ヲ要ス黃牛一
匹ヲ購入スルトキハ五十元乃至七十元、之ヲ貸入ルルトキハ一ヶ月六元五角内外、飼料ハ此細ニシ
テ論スルニ足ラズ石車即チ石輪仔ハ十元内外ニシテ其概即チ輪軸ハ二元、其ノ回轉スル所ノ底即チ
輪床ノ製造費ハ二三元ニシテ其ノ小舎ハ約十五工乃至二十工ヲ要スルカ故ニ其ノ價格約八元乃至十
二三元トス

製紙場ニ依リ石輪仔ノ外對仔ト稱スル唐臼ヲ備フルモノアリ臺北附近ノ小製紙場ニ在リテハ石輪仔
ノ裝置ヲクシテ對仔ノミヲ備フ其ノ裝置ハ紙寮ノ中適宜ノ場所ヲ撰ミテ地面ニ幅二尺長四尺深一尺
許ノ溝方ノ穴ヲ掘リ其ノ中央ヲ板ニテ仕切リテ二區劃トナシ一ヲ深クシ一ヲ淺クシ共ニ漆喰ニテ固
メ其ノ傍ニ長サ一間許ノ枵ヲ裝置シ然ル後ニ粗織維若クハ一旦石輪仔ニ掛ケタル織維ヲ淺キ穴ニ入
レテ之ヲ搗グヘキモノニシテ深キ穴ハ搗キ上ケタル織維ヲ移スニ要スルト共ニ打搗ノ間織維ヲ反覆
スル者ノ躡蹠スルニ便スルモノトス而シテ此ノ裝置ハ一紙寮ニ付一組ヲ有スルニ過キサルノミナラ
ズ石輪仔ヲ有スルモノハ多ク此ノ裝置ヲ有セサルカ如ク次ニ凸磨ト稱シテ更ニ織維ヲ細破スルモノ
アリ道ハ水漕ニ接シテ裝置シタルモノニシテ其ノ一面ハ水漕ヲ以テ縁トナシ他ノ三面ハ石垣ヲ周ラ
シ其ノ間ニ竹編ヲ敷キ水漕ニ接シタル部分ヲ高クシテ他方ヲ低クシテ約二十度許リノ傾斜ヲ保タシメ
石輪仔若クハ對仔ヲ經由シタル織維ヲ更ニ精細ニ破碎セシカ爲ニ此ノ上ニテ踏磨ルノ裝置ナルヲ以
テ一水漕ニ付必スヤ一個ノ凸磨ヲ有スルヲ常トス大半天寮附近ニ在リテハ凸磨ノ位置低クシテ地面

ヨリ高キコト幾何モナシト雖モ機杼、金網、出水坑附近ニ於テハ其ノ位置高クシテ凸磨ノ一端
ハ殆ソト水漕ノ頂邊ニ接ス是ヲ以テ凸磨ニ於テ踏ミ摺リタル織維ヲ水漕ニ移スニ當リ頗ル簡便ナル
モノトス凸磨ノ三面ヲ圍ヘル石垣ハ水漕ノ築造ト同時ニ建築スルヲ常トスルヲ以テ其ノ費用モ水漕
築造費中ニ包含ス竹編及其ノ床ハ別ニ之ヲ作ルモノトス其ノ工數ハ半天寮附近ノ其レノ如ク土ヲ盛
リ上クル必要ナキ所ニ在リテハ僅カニ工ヲ要スルニ過キスト雖モ機杼、金網、出水坑附近ニ在
リテハ約三工ヲ要スヘシ之ニ要スル費用ハ約一元乃至一元半内外トス

水漕即チ漕船ハ全ク石ニテ造ミタルモノニシテ長サ六尺乃至七尺五寸幅四尺深三尺五寸内外トス機
維ヲ溶解スルニ當リテハ之ヲ摺拌スル所ノ柄仔ヲ要シ不溶解ノ粗織維ヲ摺ヒ去ルニハ灰均ヲシ機ノ
竹製撈餅ヲ要スヘク機床ヲ載スル爲メニハ、キ字形ノ木架ヲ要ス此等ノ附屬品ハ勿論凸磨ノ石垣ヲ
モ合シテ水漕ノ築造費ハ普通十元トス而シテ小ナル紙寮ハ一個若クハ二個ノ水漕ヲ所有スルニ過キ
スレテ比較的大ナルハ三個若クハ四個ヲ有シ最モ大ナルハ六個若クハ八個ニ及フ然リ而シテ本島各
地ニ散在セル漕船數ハ大凡ソ左ノ如クナルヘシ

各地漕船數別表

廳名	堡名	街庄名	戶數	漕船數	廳名	堡名	街庄名	戶數	漕船數
臺北	大加蚋	龍潭江湖街	二	一	臺北	小計	現仔坑庄房	三	一
同	八里坌	塔寮坑庄新	六	一	同	桃園	山仔脚庄大	三	一
同	同	同大菁坑	一	一	同	海山	高坑庄庄大	三	一

二八五寸許ナレトモ工程漸ク進ミテ生紙ノ高二尺五寸以上ニ垂ントスルトキハ更ニ一尺五寸許ノ粗木片ヲ接キ足スヲ常トス而シテ後方ノ柱ハ長クシテ約四尺許トス此ノ裝置ハ一定ノ規則トシテ紙漉職工ノ操業スル場所即チ紙漉ノ手前ニ設置セルモノニシテ井字形ノ木柱並ニ生紙ヲ重ナル所ハ左側ニシテ機軸ハ即チ其ノ右側ニ置カラルモノトス其ノ築造費ハ前記ノ物ト大差ナク普通十二三元トス而シテ前記ノ磨紙漉及水板印ハ孰レノ紙寮ニ於テモ同一ノ小舎ノ中ニ配置セラル而シテ其ノ小舎ハ稀ニ木造ノモノアレトモ多クハ全部竹材ヲ以テ建築セラレタルモノニシテ柱、梁、貫等ニハ丸竹ヲ用ニ屋根ハ割竹ヲ囓ミ合シタルモノノ周圍ハ竹垣ノ如ク割竹ヲ交叉シテ貫ニ挾ミタルモノトス而シテ前記ノ裝置一組ヲ覆フヘキ小舎ヲ築造スルニハ竹材ノ伐採ヨリ落成マテ約三十工ヲ要シ二組ヲ裝置スヘキ小舎ハ約五十工ヲ要スト云フ故ニ之ヲ價格ニ積レハ前者ハ約十五元ニシテ後者ハ二十五元内外ニ相當スヘシ

幾多ノ紙寮中規模小ニシテ乾燥室ヲ有セサルモノハ普通天井ヲ以テ生紙ヲ乾燥スルモノナリト雖モ規模比較的大ニシテ白皮ヲ製造スル製紙場ニ在リテハ必ス焙燥ト稱スル暖爐付キノ焙寮即チ乾燥室ヲ有ス該乾燥室ハ開口二間與行四間乃至五間ニシテ屋根ハ紙寮及石輪付ノ小舎ト等シク竹ヲ用ニ周圍ハ石輪付ノ小舎ノ如ク開放セサルハ勿論紙寮即紙漉舎ノ如ク粗造ノモノニアラスシテ普通ノ住家ノ如ク土ヲ澆リテ壁トナシタルモノトス而シテ前後ノ開口ニハ焙燥ノ左右ニ各二個ノ入口アリテ戸ヲ有ス焙燥ハ與行ニ並行シテ開口ノ中央ニ在リ其ノ形狀ハ洋書ヲ開キテ將向キニ突立テタルカ如ク之ヲ縱斷スルトキハ二等邊鏡三角形ノ頂角ヲ切去リタルモノノ如ク其ノ内部ハ三角形ノ隧道狀ヲナシ其處ニ於テ薪ヲ焚クモノニシテ焚火ノ當ル所ハ石ニテ疊ニ上部ハ主トシテ土ヲ以テス焚口ハ兩端

ニ在リテ巾一尺ニ高サ一尺五寸許薪ヲ焚キ終リテ炭火ニ變シタルトキハ保温ノ爲メ扁平ノ大石片ヲ以テ之ヲ塞キ更ニ粘土ヲ以テ其ノ間隙ヲ密封スルノ設備ヲナスモノトス而シテ其ノ烟出トシテハ單ニ其ノ焚口ノ上方二尺ニ小孔ヲ有スルニ過キス而シテ焙燥ノ兩面ハ平滑ナルヲ以テ此ノ處ニ上下二列ニ生紙ヲ貼付シテ乾燥ヲ繰リ返ヘスモノトス一面ニ一回ノ貼付枚數ハ長サ四間ノモノニ在リテハ五十枚長五間ノモノニ在リテハ六十枚トス而シテ又焙燥ノ兩面ニ反對シ與行ノ壁ニ密接シテ地上二尺五寸ニ與行ト等シキ長サノ棚アリ其巾約二尺其中壁ニ接シタル部分ハ割竹ニシテ焙燥ニ近キ部分ハ木板トス而シテ其ノ棚ニハ焙燥ト稱スル手字形ノ竹架ヲ備フ這ハ其キニ壓搾シタル生紙ノ方塊ヲ載セ織ノ如ク棚板ノ上ヲ滑ヘラシメテ貼付ニ便ナラシメンカ爲メ彼方此方ニ運搬スルニ用ユルモノトス壓搾シタル生紙塊ヨリ紙ヲ剝クニ當リテ其ノ耳ヲ摘ムニ紙挾ト稱スル竹製ノびんせつビアリ生紙ヲ剝キテ之ヲ焙燥ニ貼付スルニハ焙燥ト稱スル草箒アリ焚火ヲ棧クニ長柄ノ火柄アリ此等一際ノ附屬品ヲ合シテ焙燥及焙寮ノ築造費ハ樟樹坪ニ於テモ又金剛寮ニ於テモ約百元ヲ要スト云フ然シテ本島ニ於テハ焙燥ヲ有スル紙寮甚タ多カラスシテ全ク斗六及嘉義ノ一地方ニ限り偶々之ヲ所有スルモ多クハ唯一個ニシテ二個以上ヲ有スルモノ甚タ稀ナリ今其ノ所在地及其ノ數ヲ掲ゲレハ左ノ如ク

各地焙燥數別表

廳名	堡名	庄名	焙燥數	廳名	堡名	庄名	焙燥數
同	斗六	沙連	初鄉	同	同	同	同
打猫	東頂	苦荬	脚	小計			
						大湖底	

輪床二ヶ所ノ築造費	六〇〇
石輪仔小舎二棟建築費	二〇〇〇
山磨三個	四五〇
紙槽三個附屬品トモ	六〇〇〇
木板甲三個	三九〇〇
紙寮建築費	四〇〇〇
紙籾六個附屬品トモ	一〇二〇
焙灶、焙寮及其附屬品	一〇〇〇〇
かんでら十個	五〇
計	三六二〇

前記兩表中隨時農閑ヲ利用シテ自作作成スルモノ固ヨリ甚カラス蓋シ前記兩表ノ示ス所ハ大凡ソノ見當ナルヲ以テ實際ハ勿論多少ノ相違ヲ免レスト雖モ決シテ大ナル懸隔ヲ見サルヘシ

十九、傭員ノ食料

製紙場ニ於テハ他ノ工場並ニ農家ニ於ケルカ如ク契約ノ如何ニ依リ労働者ニ食料ヲ給スルコト少カラサルヲ以テ之ニ對スル準備ナカルヘカラス食料中ノ主ナルモノハ勿論米穀トス其量ハ或ハ七日ニシテ一斗ヲ要スト云ヒ或ハ十日ニシテ一斗五升ヲ要スト云ヒ或ハ十五日ニシテ三斗五升ヲ要スト云ヒテ頗ル過多ナルカ如ク説明スト雖モ一日三食スル所ノ普通人ハ一ヶ月一斗五升ニシテ四食若クハ

五食スル所ノ司庫若クハ苦力ト雖モ一ヶ月二斗五升ヲ要スルモノ稀ナリ是ヲ以テ之ヲ見レハ紙寮ノ職工ハ如何ニ大食ナリトスルモ一ヶ月三斗以上ヲ要スルコトナキヤ疑ナシ一斗ノ價格ハ時ト所ニ依リテ等シカラス米價騰貴ノ今日檳榔坪ニ於テハ九角六點金籾寮ニ於テハ一元出水坑ニ於テハ一元三點トス故ニ一人一ヶ月ニ要スル米穀ノ代價ハ三元ヲ出ツルコトナカルヘシ而シテ其菜代ハ一日平均三點ト稱スルモノ多クシテ五點ヲ要スト云フモノ稀ナルヲ以テ一人一ヶ月ニ要スル菜代ハ普通九角ニシテ一元五角ヲ要スルモノハ平常ノ最モ優等ナルモノト稱シテ可ナリ惟フニ労働者一人一ヶ月ノ給料ハ食料ノ給不給ニ依リ大凡ソ三元ノ差アルヨリ見レハ其ノ食料ハ大約此ノ額ト大差ナカルヘキナリ故ニ如何ニ其ノ手當ヲ善良ニナスモ決シテ一ヶ月四元半ヲ超ユルコトナカルヘシ

二十、燈火料及燃料

小規模ノ工場ニ在リテハ夜業ヲナスコト稀ナリト雖モ苟モ焙灶ヲ有スル工場ニ在リテハ夜業ヲ中止スレハ頗ル不利益ナルヲ以テ一般ニ夜業ヲナスモノトス夜業ヲナスニハ是非トモ燈火ヲ要ス而シテ其ノ燈火ハ普通石輪仔ニ二個紙寮即チ漉場ニ三個焙寮ニ二個ヲ要ス之ニ要スル原料ハ多ク石油トス石油ノ量ハ季節ニ依リテ異レトモ製紙ノ最モ盛ナル季節ハ秋季ヨリ冬季ニ亘ル長夜ノ季節ナルヲ以テ一ヶ月平均一箱トス其ノ價格ハ地方ニ依リ異レトモ大凡ソ一箱ニ付四元四角乃至五元内外トス焙灶ニ要スル燃料ハ專ラ生木若クハ生竹ノ枝ニシテ之ヲ得ルニハ一般ニ専務ノ採薪夫ヲ備ヒ入レ之ヲシテ山林ニ就キ之ヲ伐採セシムル後之ヲ焙灶マテ運搬セシムルモノトス燃料ヲ採收スル苦力ノ

同 同 同 同 同 同 同 同 同
斗六廳沙連堡大坑庄
以上南投總計三戶
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同

黃 格 甫
吳 章 皚
吳 章 皚
田 深
張 廟外一名ノ組合
長 澤 圓 三 郎
葉 鳳
林 山
林 慶 祥
林 光 塗
林 六 言
王 安
林 有
林 火
林 炎
林 燦

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

三七
陳 石 惟
陳 石 頭
陳 通
楊 春
林 標
林 毛
林 和
張 梓
紀 永
庠 祥
林 榮
林 印
廖 錦
黃 方
辜 成
林 其
陳 文
王 改
陳 刀
林 木

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

羅 吳 陳 黃 姜 劉 劉 劉 劉 劉 劉 劉 劉 劉 陳 陳 楊 李
進 揚 達 瑞 守 守 陳 羅 世 世 守 細 陳 世 鏡 阿 宜
業 炎 秋 水 春 順 乾 澤 妹 開 群 立 喜 耀 春 汀 煌 生

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

三十六
曹 陳 蕭 劉 林 楊 戴 黃 陳 蕭 彭 彭 劉 曾 鍾 何 羅 羅
金 清 阿 溪 添 阿 阿 永 慶 雲 仕 瓊 禮
石 湧 福 珍 昂 喜 泉 丙 生 友 枝 確 瑠 書 進 養 石

同同同同同同同同同同同
同縣同榮棧坪庄

何連劉林葉林林林林邱邱林張張林郭林商
添宜石香沙彙和文奇
想萬文利道成生枝順蔚烈榮尙德坪成然順

同同同同同同同同同同同同同同
同縣同榮金舖登庄
同縣同榮棧那登庄
同縣同榮福那金庄

四
劉劉劉劉劉劉劉蔡林汪郭郭李鍾鍾邱詹林
運運瑞俊俊運運金仁永文
味騰和埠歸昇碧水勸平生恭川瑞盛呈水福

同同同同同同同同同同同
同縣同榮天湖庄
同縣同榮香仔路庄

林林邱呂邱何姚林蔡江方游袁袁袁袁袁許
榮九金枝扁

一 溪順財益港炎致順東健得福印萬頭古恩

同同同同同同同同同同同同同同同
同縣大日樓內埔庄
同縣同榮公田庄

四
張林劉劉馬許劉邱吳林邱邱邱邱邱黃林
俊文伊丁添賢
刀哲忠勇吉祥潮加程孝孃群順定科色賀修

同同同同同同同同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同同同同同同同同

黃林莊林王林朱田田溫莊張張羅林張黃江
有 成順 萬添貫

火能結轉熊隆維喜木頂福世英定安學裕起

同同同同同同同同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同同同同同同同同

四三

劉劉陳陳劉林林郭郭謝謝郭謝邱李羅楊羅

國 知 桂德賢屋 賢簡 兩

海興發先高蚶嬰趕勝俎牛鐵籃申能麟霖統

同同同同同同同同同同同同同同同同同

劉劉劉黃黃朱盧盧黃林伍伍徐朱朱朱朱王
運運萬定才 更

盡千俊秀能本娘萬潭旺登箱波古牛月網順

同同同同同同同同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同同同同同同同同

四二

劉黃黃黃吳林曾林林林郭朱楊汪陳曾劉劉

氏清明文 指 清伍 明木 德俊運

員根通發奉結生壽連文生標生文湖龍枝寶

同同同同同同同同同同同同同同
同同同同同同同同同同同同同同
同同同同同同同同同同同同同同
同同同同同同同同同同同同同同

莊陳翁吳吳楊楊楊楊楊翁翁江郭林郭劉林
乞天龍隆金才義桂運
旺興食生標輝益王水牛賀慶勇達藝月得田

同同同同同同同同同同同同同同
同同同同同同同同同同同同同同
同同同同同同同同同同同同同同

四五

陳謝許江許翁賴朱翁吳黃廖翁廖翁賴朱吳
金文大赤萬佳氏傳烏
生連再傑日毛明居長江利成獻生支份獅玩

同同同同同同同同同同同同同同
同同同同同同同同同同同同同同
同同同同同同同同同同同同同同

郭詹林林林廖劉林林林林林林廖劉江林劉
有田水生
德扁佃槍崙雲露庇款麟心栽道宜協國彥吟

同同同同同同同同同同同同同同
同同同同同同同同同同同同同同
同同同同同同同同同同同同同同

四四

陳林劉劉江劉劉陳林陳陳陳陳林江林郭郭
長乞通運運俊為春清為為為開邦有仁
庚食容關和覽合頑枝波同姜周羅居齊定錄

同	劉	運	昌	同	同	吳	天	送
同	陳	義	同	同	同	呂	無	牙
同	謝	禽	同	同	同	林	桔	
同	陳	春	同	同	同	蔡	英	
同	葉	倫	同	同	同	吳	此	
同	李	火	同	同	同	龔	順	
同	廖	皆	同	同	同	龔	長	
同	陳	蘭	同	同	同	龔	生	
同	林	添	同	同	同	龔	德	
同	林	固	同	同	同	龔	德	

以上鹽水港園計十戶
島內全計三百九十戶

備考 一、臺北廳大加蚋堡羅江瀨街宇野龍吉及同街高溪ハ竹紙製造家ニアラスシテ主トシテ内地式廢紙ヲ抄造スルモノ
二、嘉義廳下打貓東頂堡九崙坑庄黃清根、同堡大半天寮庄羅統、同堡圳頭庄謝屋牛、郭桂廷、同堡大草埔庄、翁傳文、吳佳江、翁長、賴明、許文再ノ九戶ハ自ラ紙寮ヲ所有モスシテ他ノ工場ヲ借用スルモノトス

二十二、製紙法

再投入ヲ終リテ更ニ四十日乃至六十日ヲ經過シタルトキハ引續キ職工並ニ備員ヲ役シテ其ノ後ノ工

程ニ着手シ玆ニ初メテ純粹ナル製造業ノ範圍ニ入ルモノトス是ニ於テ製造業者若クハ製造ヲ請負ヒタル司阜頭ハ司阜即チ職工ト小工即チ助手ヲ備入レ纖維ノ細破ヨリ開始シテ本品ノ製造ニ取掛ルモノトス之ヲ製造スルニハ先ツ以テ一小工ハ解ノ水ヲ去リテ粗纖維ヲ取出シ解ノ傍ニ設置セル押竹木板ニ堆積シテ之ヲ壓搾シ然ル後之ヲ石輪仔ノ傍ニ運搬スルカ將タ之ヲ解中ヨリ取出シテ石輪仔ノ傍ニ運搬シタル後同所ニ備ヘアル木板甲ニテ壓搾スルモノトス此ノ作業ハ石輪仔ノ工程ノ進ムヲ待ナテ隨時之ヲ行フカ將タ多量ニ之ヲ壓搾シテ其ノ傍ニ堆積シ必要ニ應ジテ石輪仔ニ供給スル者トス斯クノ如キハ之ヲ石輪仔ノ回轉スヘキ床ニ敷キ置ケ其ノ上ニ石輪仔ヲ回轉セシメテ之ヲ破碎シツツアル間ニ初メノ程ハ或ハ手ヲ以テ最モ粗ナル纖維ヲ揉キ碎キ或ハ適當ノ場所ニ分散シ漸ク細破スルトキハ牛畜ヲ驅リツツ竹棒ヲ以テ磨目ニ挾マレ纖維ヲ絶ヘス突キ落トシテ石輪仔ノ破碎ニ委スルモノトス斯クノ如クスルト白皮沓仔等ノ製造用ニ在リテハ七八時間大粗ニ在リテハ五六時間ニシテ一回ニ破碎スル量ハ一回ニ付約六擔内外一擔ノ實量ハ四十斤内外トス此ノ作業ヲ了シタルトキハ直チニ凸磨ニ移スチ常トスレトモ往々ニシテ對仔ト稱スル唐臼ニテ更ニ之ヲ搗キ碎クモノアリ其ノ方法ハ米搗キノ場合ト略ホ相等シト雖モ唯々其ノ異ル所ハ一人ノ小工之ヲ搗キツツアル間ニ他ノ小工ハ臼ノ傍ニ踞シテ纖維ヲ反覆スルニ在リ此ノ作業ヲ終ルトキハ凸磨ニ移シテ更ニ之ヲ踏ミ捏チルモノニシテ其方法ハ手ニテ天井ヨリ吊ルセル繩ヲ持シテ身体ヲ支ヘ片足ヲ以テ纖維ヲ踏ミ之ヲ傾斜セル凸磨ノ編目ニ磨リテ之ヲ解錠スルモノトス斯クノ如クスルト二三時間ナルトキハ直チニ紙槽ニ容レテ紙漉ノ準備ヲナシ得ヘシト雖モ多クハ紙漉ノ一段落ヲ告ケタル間際ヲ見計ラヒテ之ヲ投スルモノニシテ之ヲ紙漉ニ投スルヤ否ヤ小工ハ柄仔ヲ以テ丁寧ニ攪拌スルコト三四十分ナル間ニ撈

鉛ト稱スル灰均ヲシ様ノモノヲ以テ烈シク紙槽中ヲ攪キ探リ製紙ニ適セサル堅キ纖維ヲ引播キテ之ヲ取去ルコト數回コ及フモノトス以上ノ工程ハ總テ小工ト稱スル備人ノ操行スル所ニシテ其ノ中主トシテ石輪仔ヲ司ルモノハ時トシテ小兒ナルコトアリ之レヨリ以後ノ工程ハ暫ク司阜ノ操行ニ移ル即チ右ノ如ク紙槽中ノ纖維ヲ處理シ終リタルトキハ紙漚職工ハ、キ字形ノ木架ニ載セ掛ケタル簾床ノ上ニ紙簾ヲ敷キ更ニ之ヲ「」字形ノ押簾ニテ押セルト同時ニ兩手ヲ以テ其ノ兩端ヲ把持シ之ヲ纖維ノ溶解セル水中ニ没シテ之ヲ酌ミ上ケ日本法ノ如ク殆シト之ヲ振蕩スルコトナク再ヒ、キ字形ノ木架ノ上ニ載スルトキハ水ハ簾ノ下ニ滴リ其ノ上ニ一葉ノ生紙ヲ得ヘシ是ニ於テ押簾ヲ外ツシ其ノ下ナル紙簾ヲ取リテ逆様ニ木板甲ノ板臺ノ上ニ置キ靜カニ紙簾ノミヲ取去ルトキハ臺上ニ生紙ヲ留スヘシ是ニ於テ紙簾ヲ再ヒ簾床ニ敷キテ押簾ニテ押ヘタル後速カニ前記ノ作業ヲ繰返シテ生紙ノ下ニ生紙ヲ堆積スルコト四尺ノ高サニ達スルトキハ小工ノ補助ニ依リテ之ヲ壓塊スルモノトス斯クノ如ク壓塊ヲ經タルモノハ厚サ五六分ノ一ニ縮少シテ一ノ方塊トナルカ故ニ側面ノ一端若クハ中央部ニ尖線又ハ線線ヲ施コシテ流キ手ノ印トナス是ニ於テ小工ハ之ヲ持去リテ適宜ノ臺ニ載セ捲丁又ハ竹片ヲ以テ其ノ耳ヲ削リテ其ノ形狀ヲ整ヘタル後之ヲ焙室ニ持行クモノトス

四八

ヲ剥キ取リ直チニ之ヲ重チテ棚ノ内ノ竹篋ノ部分ニ置キ再ヒ貼付シ取掛ルモノトス斯クノ如クニシテ屢々此ノ作業ヲ繰返シ乾燥シタル紙數多キニ達シタルトキハ之ヲ包裝室ニ送ルモノトス其ノ乾燥室ハ焙室ノ長サニ依リテ異レトモ其長サ四間ノモノハ一列ニ二十五枚ヲ貼付スルヲ以テ一面即チ二列ニ五十枚トシ五間ノモノハ三十枚ツツ六十枚トス焙室ノ他ノ一面ニ在リテモ他ノ司阜ハ同一ノ作業ヲ繰返ヘシツツアルモノトス一日一人ニテ乾燥スヘキ量ハ白皮四粒ニ至五粒ナリト云フ

然ルニ乾燥室ヲ具ヘスニテ單ニ天日ヲ以テ乾燥スルモノニ在リテハ天候ノ良好ナル日マテ紙塊ヲ貯蓄シ日和チ待チテ之ヲ乾燥スルモノトス其法ハ先ツ以テ紙塊ヨリ四枚若クハ五枚即チ一易ツツ剥キ取ルモノニシテ之ヲ開紙ト云フ然ル後北風下ノ或ル製造場ニ於テハ或ハ之ヲ竹ニ掛ケ或ハ之ヲ策ニ晒ケテ乾燥スト雖モ製紙業ノ本場ニ於テハ地面若クハ草叢ノ上ニ一易ツツ晒ケテ乾燥スルモノトス而シテ乾燥ヲ終リタルトキハ之ヲ拾集シテ包裝室ニ送ルコト前記ノモノニ等シ斯クノ如ク不規則ナル工程ハ日備若クハ家人ノ行フ所ニシテ普通一人一日ニ付大棉ハ二十二刀ヲ處理シ重紙及薄任紙ハ七八支ヲ處理スト云フ

二十三、包裝法

乾燥シタル紙ヲ包裝スルニハ先ツ以テ其ノ紙ヲ檢シテ破レタルヲ除キタル後其ノ枚數ヲ計ヘ一刀ニ達シタル紙毎ニ其ノ耳ヲ折リ置クモノトス然ル後一刀ノ枚數ヲ取リテ其ノ耳ヲ整ヘ之ヲ三ツ折トナシ而シテ其ノ數一粒若クハ一支ノ刀數ニ及ヒタルトキハ之ヲ重チ合シテ細キ竹條ニテ之ヲ捆束スルモノトス之ヲ捆束スル所ノ竹條ハ司阜ノ工閑ヲ利用シテ製造スル所ニシテ一粒若クハ一支ヲ捆束ス

ル竹條ハ一厘ノ割合ニテ工賃ヲ受クルモノトス一日ノ包裝量ハ紙ノ種類ニ依リテ異レトモ白皮ニ於テハ五六十粒、衍仔並ニ三粗ニ在リテハ四五十支、重紙並ニ薄仔紙ニ在リテハ三四十支トス此ノ作業ハ大規模ノ製紙場ニ在リテハ備ヒ切リノ小工ニ於テ之ヲ營ムト雖モ小規模ノ製紙場ニ在リテハ乾燥シタル紙ノ蓄積シタルニ臨ンテ臨時人ヲ僱ヒテ之ヲ請負ハシムルモノトス

五〇

二十四、勞銀支給法

製紙場ニ使役スル各種ノ勞働者中漚ガ即チ榨紙司阜ノ給料ハ總テ依勞支給ニシテ其額ハ地方ニ依リ多少ノ相違アリト雖モ殆ント大ナル徑庭ナシ即チ食料付ノ場合ニ在リテハ白皮ハ一刀二點、衍仔ハ一支四點、重紙及薄仔ハ一支四點、大粗ハ一刀一點二厘、三粗ハ一支三點、大棉ハ一支二點內外ニシテ食料自辨ノ折ハ白皮二點半、衍仔、重紙及薄仔五點、大粗一點半、三粗四點、大棉二點半內外トス天日ヲ以テ乾燥スルモノノ勞銀ハ多ク日額ナリト雖モ焙寮ノ焙紙司阜ハ榨紙司阜ト等シク依勞支給ヲ以テ白皮一刀ニ付二點ヲ得ルモノトス包裝ハ小工ノ營ム所ナリト雖モ其ノ勞銀ハ多ク前記ノ司阜ト等シク依勞支給ニシテ其額ハ地方ニ依リ等シカラスト雖モ白皮ハ一粒ニ付五厘乃至六厘、三粗ハ百支八角乃至一元、衍仔ハ一元乃至一元二角、重紙及薄仔ハ一元二角乃至一元五角トス但シ三粗以下ハ一角乃至二角ノ割竹ノ代金ヲモ含ムモノトス

而シテ小工ノ勞銀ハ前者ト異リ期間支給ニシテ月極ノ若クハ日割計算トス日割ノトキハ二角五點乃至三角ニシテ月額ノトキハ七元乃至九元トス若シ之ニ食料ヲ支給スルトキハ日額一角四五點乃至二角ニシテ月額ハ四元乃至六元トス右給料ノ外業主若クハ司阜頭ハ各勞働者ニ多少ノ煙草ト檳榔トヲ

給與スルヲ例トセリ其ノ費用ハ製紙場ニ依リ多少ノ相違アリト雖モ大凡ソ左ノ如シ

檳榔坪ノ一紙寮ニ於テハ煙草一日ニ付二錢、檳榔一日ニ付一錢	金福寮ノ一紙寮ニ於テハ煙草一日ニ付一錢五厘、檳榔一日ニ付一錢	出水坑ノ一紙寮ニ於テハ煙草一日ニ付二錢、檳榔一日ニ付一錢五厘	愛寮ノ一紙寮ニ於テハ煙草一ヶ月一包平均、此代金五十錢、檳榔一日一錢五厘
是ヲ以テ一人一ヶ月ノ給與額ハ略ホ左ノ如シ			
檳榔坪	金福寮	出水坑	愛寮
煙草 六〇〇	煙草 四五〇	煙草 六〇〇	煙草 五〇〇
檳榔 三〇〇	檳榔 三〇〇	檳榔 四五〇	檳榔 四五〇
計 九〇〇	計 七五〇	計 一〇五〇	計 九五〇
平均 五三七五	平均 三七五〇	平均 九一二五	平均 九一二五

是ヲ以テ之ヲ見ルニ其ノ額六八銀ノ約一元内外ニ相當ス尙此外ニ剝頭料ヲモ支給スト雖モ此等ヲ合算シテ金券一枚即チ一元一角許ト見積ラハ決シテ不足ヲ感スルコトナカルヘシ薪採取者ノ勞銀ハ製造期間ヲ通シテ引續キ使用スル製造場ニ在リテハ小工ノ給料ト略ホ相等シト雖モ臨時ニ僱入ルルモノニ在リテハ總テ日額ニシテ一日ノ賃銀ハ四角乃至六角トス蓋シ三個ノ紙槽ニテ晝夜漚キ續クルモノニ在リテハ總テ儲切ノ採薪夫一人ヲ使用スルヲ有利トスヘシ

右ノ給料支拂期日ハ殆ント一定ヒス必要ニ應ンテ支給スルヲ例トセリ唯々其ノ全部ノ決算ハ製紙ノ終期ニ於テ之ヲ爲スモノトス

二十五、製造部留

五一

金柳寮ニ於テハ一擔六十斤ノ箱百箱ヨリ一粒十四斤ノ白皮白粒、同十七斤ノ白皮八十四五粒ヲ得、出水坑ニ於テハ一擔七十五斤内外ノ箱百箱ヨリ一粒十七斤ノ白皮白粒、一支六斤ノ大棉二百八十九支ヲ得、檳榔坪ニ於テハ一擔六十斤ノ箱百箱ヨリ一粒十六斤ノ白皮白粒、一支十一斤ノ薄仔百五十支ヲ得、愛寮及半天寮ニ於テハ一擔八十斤ノ箱百箱ヨリ一支六斤ノ半仿三百支、大粗一千八百斤ヲ得、是ヲ以テ之ヲ見ルニ正味百斤ノ箱ヨリ二十二斤乃至二十三斤ノ製紙ヲ得ルヲ常トス而シテ多キハ二十五斤ニ及フコトアリト云フ要スルニ其ノ歩留ヲ二割三分留ト見レハ大ナル差違ナシ

二十六 生産額

以上述ヘ來リタルカ如クニシテ本島ニ於テ生産セラルル製紙ノ數量ハ實際幾何ナルヤ明知スヘカラスト雖モ大体ノ數量ニ就キ各廠ノ報告スル所左ノ如シ

島内各紙産額各廠別表

廠名	年次	白皮	竹肉紙	大紙	薄仔紙	半仿	三粗	金古	大棉	大粗	其他紙
臺北	三十九年										
	四十年										
桃園	三十九年										
	四十年										
新竹	三十九年										
	四十年										

而シテ今假リニ白皮一粒ヲ十六斤、竹肉紙、大紙、薄仔紙一支ヲ十二斤、半仿一支ヲ六斤、三粗一支ヲ三斤、金古一粒ヲ一斤、大棉及大粗一刀ヲ五斤、其他ノ紙一千枚ヲ五斤ト見積リ右ノ數量ヲ悉ク斤數ニ換算スルトキハ大凡ソ左ノ如クナルヘシ

島内産出各紙斤量廠別表 (單位、斤)

廠名	年次	白皮	竹肉紙	大紙	薄仔紙	半仿	三粗	金古	大棉	大粗	其他	計
臺北	三十九年											
	四十年											

此等ノ價格ハ時ト所トニ依リ著シク相異スルヲ以テ其ノ生産價額ハ果シテ幾何ナルヤ詳カニ知了ス
ル能ハスト雖モ今假リニ白皮百粒ニ付百圓、竹肉紙、大紙及薄仔紙百支ニ付平均六十圓、百斤ニ付平
均五圓、半百支ニ付三十圓、百斤ニ付五圓、三粗百支ニ付十五圓、百斤ニ付五圓、金古百粒ニ付七
圓、大棉百斤ニ付二十五圓、大粗百斤ニ付三圓五十錢、其他ノ紙一枚ニ付一厘、百斤ニ付二十圓ト見積
リ各々其ノ生産價額ヲ算出スルトキハ大凡ソ左ノ如クナルヘシ

計	鹽水港	嘉義	斗六	南投	苗栗	新竹	桃園	臺北	臺南	嘉義	斗六	南投	苗栗	新竹	桃園	臺北	年次	
																	三十九年	四十年
計	鹽水港	嘉義	斗六	南投	苗栗	新竹	桃園	臺北	臺南	嘉義	斗六	南投	苗栗	新竹	桃園	臺北	三十九年	四十年
...

本島製紙推定價額別表

計	鹽水港	嘉義	斗六	南投	苗栗	新竹	桃園	臺北	臺南	嘉義	斗六	南投	苗栗	新竹	桃園	臺北	年次	
																	三十九年	四十年
計	鹽水港	嘉義	斗六	南投	苗栗	新竹	桃園	臺北	臺南	嘉義	斗六	南投	苗栗	新竹	桃園	臺北	三十九年	四十年
...

然リト雖モ嘉義ニ於ケル較多紙開屋ノ語ル所ニ依レハ同地方ノ生産額ノモニテモ優ニ十五萬圓内外ニ達スト云フニ一致スルヲ以テ實際ノ産額ハ前表示ス所ヨリ約二三割ヲ増加シ其ノ全産額ハ少クトモ約二十萬圓ニ達スヘキナリ

二十七、運搬及運賃

前述ノ如ク竹紙ヲ産出シタルトキハ生産者ハ自個ノ負擔ヲ以テ之ヲ市場ニ運搬スルヲ常トス蓋シ臺北、桃園、新竹、南投、鹽水港屬下ノ産品ハ其ノ量比較的少キヲ以テ單ニ同地最寄ノ小市場ニ運致セラレテ地方的ノ消費ニ充テラルルニ過キスト雖モ斗六及嘉義廳屬管下ノ産品ハ一旦最寄ノ小市場ニ運出セラルルカ將タ直接ニ大市場ニ搬致セラレテ更ニ各市場ニ轉輸セラルルモノトス斗六廳下ノ産品中淡水溪ノ上流ナル勞水坑、桶頭附近ノモノハ林圯埔ニ集リ樟湖、苦荬脚、大湖底附近ノモノハ一部ハ坂頂厝ニ他ハ嘉義廳ノ梅仔坑ニ集リ嘉義廳下ノ産品中、北部地方ナル龍眼林、水底寮、蘇園寮、大半天寮附近ノモノハ梅仔坑ニ集リ出水坑、加六坪、長坑、茅寮坑、龍園寮、金獅寮、樓仔寮、穀厝寮、大坑、覆鼎金附近ノモノハ一旦竹頭崎ニ集ルカ將タ直接ニ嘉義ニ出テ金周厝、岩仔、大湖、桃仔寮附近ノモノハ一旦鹿麻產ニ集ルカ將タ嘉義ニ出テ之レヨリ南方ノモノハ觸口若クハ中埔ニ集ルカ將タ直接ニ嘉義ニ出テ然ル後更ニ各地ニ搬出セラルルモノトス而シテ其ノ竹紙ハ直接ニ搬致シタル一次ノ市場ニ於テ初メテ生産者ノ手ヲ離ルルカ爲メ同市場マテノ運賃ハ生産者ニ於テ之ヲ負擔ス然ルニ本品ハ前述ノ如ク主トシテ海拔一千尺以上三千五百尺ノ間ニ産出スルモノナルヲ以テ之ヲ運出スル道路ハ崎嶇突兀ノ峻坂多ク之ヲ運搬スルニハ到底牛畜若クハ車力ヲ用ユル能ハズシテ

全部若クハ大部分人解ニ依ラサレヘカヲサレテ以テ其ノ運賃ハ比較的高價ナルヲ免レシ蓋シ其ノ運賃ハ時節ニ依リ固トモリ多少ノ相異アリト雖モ現今本品ノ主産地ニ於テハ大凡ソ左ノ如シ

嘉義及斗六廳管下竹紙運賃表 其一、各地梅仔坑間

出	坑	白皮	大棉	重紙	加	六	坪	白皮	大棉	重紙
龜仔頭	一粒	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇
大湖底	一粒	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇
苦荬脚	一粒	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇
龍眼林	一粒	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇
蘇園寮	一粒	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇
水底寮	一粒	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇
樟湖庄	一粒	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇
大半天	一粒	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇
大湖底	一粒	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇

其二、各地竹頭崎間

大	大	湖	岩	石	崎	杉	港	落	出	機	天	頂	新	杉	龍	金
安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安
蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡
湖	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

五九

嘉	桃	出	大	岩	金	樺	龍	金	芋
仔	水				厝	樹	園	獅	寮
義	科	坑	湖	仔	厝	坪	寮	寮	坑
百									
支									
百									
支									
百									
支									
百									
支									
百									
支									
百									
支									

其四、各地嘉義間

其三、各地鹿麻產間

五八

公 桃	公	二八〇				六〇
椛 樹	椛	一〇〇				
仔 樹	仔	一〇〇				
科 坪 田	科	一〇〇				

同
其五、各地斗六間

大 湖	白皮(百粒)	一〇〇〇
苦 茶	大紙(百支)	八七九〇
脚 底	三粗(百支)	三九八〇
	金古(百粒)	〇八七五
	大粗(百斤)	〇七〇〇

同
其六、各地林圯埔間

三 粗(百支)	田仔庄	同	大八硯	同	內田仔	同	大坑庄	同	大坑	同	中心崙	同	猪頭寮	同	初 卿
金 古(百粒)															
大 粗(百斤)															

同
其七、苦茶脚庵古坑庄間及初卿社寮庄間

二十八、販賣法

社切庵新 雙龍 坑脚 庄庄庄 間間間	大 紙(百支)	三 粗(百支)	金 古(百粒)	大 粗(百斤)
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○

製紙業者ニ於テ本品ヲ販賣スルニハ前述ノ如ク地方市場若クハ中心市場ニ搬出シテ悉ク同地ノ紙行
即チ紙問屋ニ委託スルモノトス紙行ニ於テ之ヲ販賣シタルトキハ其ノ賣上代金ヨリ抽頭即チ口錢ト
運賃トヲ差引キテ直チニ其ノ殘金ヲ製造主ニ返付スヘキモノナリト雖モ實際ニ於テハ必スシモ然ラ
サルナリ元來紙行ハ他面ニ於テ雜貨店ヲ兼業シ其ノ商品ヲ供給スルニ非ラスンハ別ニ資金ノ融通ヲ
ナスチ例トスルヲ以テ其ノ賣上代金並ニ利子ト差引決算ヲ行フモノトス蓋シ其ノ利子ハ明瞭ニ計上
スルヤ否ヤニ關シテ諸説區々トシテ其ノ實際ヲ窺知スルニ難シ紙行ノ語ル所ニ依レハ資本ヲ貸與ス
ルモ利子ヲ徵收スルコトナク單ニ義務トシテ他店ニ製紙ヲ持テ行クヲ禁シ必ス自家ニ之ヲ委託セシ
ムルニ在リト云フト雖モ紙寮ノ語ル所ニ依レハ其ノ利子一ヶ年ニ一割、八ヶ月ニ二割、四ヶ月ニ三
割ナルモノト斯ノ如キ區別ナク年二割ナルモノトノ別アリト雖モ利子ヲ支拂ヒツツアリト云フニ一
致セリ要スルニ紙行ハ利子トシテ現金ヲ徵收スルコトナクモ利子ニ相當スル丈ク安直ニ紙價ヲ仕切
リ暗黙ノ裡ニ之ヲ徵收スルモノニ似タリ而シテ製紙賣上ノ決算ハ時トシテ隨時之ヲナスコトアリト
雖モ多クハ陰曆年末並ニ四五月ノ製造開始期ニ於テス其ノ抽頭ハ紙ノ種類ニ依リテ異レトモ各市場

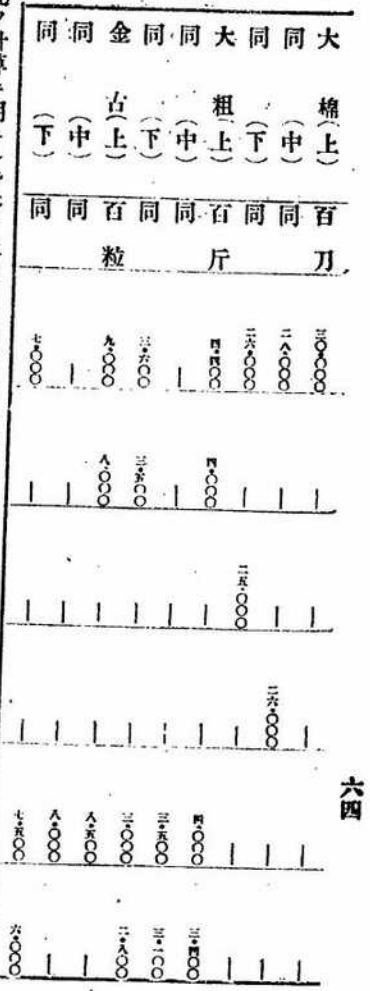
同	三	同	同	半	同	同	薄	同	同	竹	同	同	同	同	同	太	同
粗	粗	中	中	上	上	上	上	上	上	最	上	中	中	中	大	大	下
(下)	(上)	(下)	(中)	(上)	(中)	(下)	(上)	(上)	(上)	上	(下)	(中)	(小)	(小)	(大)	上	下
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
二〇〇〇〇	二五〇〇〇	三〇〇〇〇	三六〇〇〇	四二〇〇〇	四八〇〇〇	五二〇〇〇	五五〇〇〇	五八〇〇〇	六〇〇〇〇	六二〇〇〇	六四〇〇〇	六六〇〇〇	六八〇〇〇	七〇〇〇〇	七二〇〇〇	七四〇〇〇	七六〇〇〇
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇

六三

同	白	名	稱	單位	嘉	義	梅	仔	坑	竹	頭	崎	鹿	株	產	斗	六	林	埧	埔
同	皮	上	百	粒	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇
中	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

ニ於テ殆ソト一定セリ即チ左ノ如シ
 主産地ニ於ケル竹紙ノ口鏡
 白皮百粒ニ付 二元
 大紙百支ニ付 一元
 竹肉紙百支ニ付 一元
 薄仔紙百支ニ付 一元
 大棉二百刀ニ付 一元
 大粗一千斤ニ付 一元
 半衍百支ニ付 五角
 三粗百支ニ付 五角
 金古百粒ニ付 三角
 然リ而シテ主産地ニ於ケル市場價格ハ大凡ソ左ノ如シ
 嘉義廳下各市場製紙價格表

六二



六四

此ノ計算ニ用ニル幣ノ本位ハ一般ニ六八銀ニシテ即チ市秤ノ六分八分ヲ以テ一元ト想定シタルモ
 ノトス之ヲ圓銀ニテ仕拂フトキハ其ノ格ヲ七分八分ト定メ六八銀ノ一元一角五點トシテ計算スルモ
 ノニシテ金券ヲ以テ決算スルトキハ比價ノ如何ニ依リテ時々變動スト雖モ現今ハ銀七分五分トシ六
 八銀ノ一元一角トシテ計算スルモノトス故ニ六八銀ノ相場ハ現時九十一錢トス價格ノ單位ハ多ク百
 粒若クハ百支ナリト雖モ大粗ノミハ百斤ニシテ其ノ實量ハ百〇五斤即チ加〇五トス然リト雖モ此ノ
 割増量ニハ其ノ包裝チモ包含スルヲ以テ他ノ商品ノ割増トハ少シク其ノ趣ヲ異ニセリ

二十九、製紙業者ノ經濟

製紙業者ノ經濟ハ規模ノ大小、製造期間ノ長短其他諸般ノ事情ニ依リテ各々相異ルハ雖モ俟ダスト
 雖モ之ヲ副業トシテ管チモノト主業トシテ管チモノトノ二種ニ區別スレハ大体ノ標準ヲ窺知スルヲ
 得ヘン前者ハ普通五六百擔ノ筒ヲ以テ主トシテ半街ヲ製造シ後者ハ普通二三千擔ノ筒ヲ以テ主トシ
 テ白皮ヲ製造スルヲ以テ試ニ左記ノ事情ニ依リ前者ハ六百擔後者ハ三千擔ノ原料ヲ購入シ孰レモ自
 個ノ解ニ於テ自ラ纖維ヲ調製シ自個ノ製紙場ニ於テ自ラ指彈監督シ中央市場ヨリ比較的遠達ナル地
 方ニ於テ前者ハ半街ヲ製造シ後者ハ白皮ヲ製造シタル場合ノ收支計算ヲ查スレハ左ノ如シ

製紙業者ノ收支計算	
一、	千八百支ノ賣上代金 一支四十元カヘ(嘉義相場)
二、	支 出
一、	六百擔ノ筒購入代金 百擔三元カヘ
二、	六七百歩ヨリ引水費 工數六七五、一工四角カヘ
三、	三千六百斤ノ石灰代金 百擔ノ筒ニ六百斤ノ石灰混用百斤二元カヘ
四、	伐採ヨリ運搬マテ、受負賃 竹林ノ距離一里内外、百擔七元ノ割
五、	浸水費 筒百擔ニ付八角ノ割
六、	再浸水費 筒百擔ニ付一元四角ノ割
七、	筒ノ掃除費 筒一擔ニ付一點ノ割
八、	澆水費 一支四點
九、	七二、〇〇 澆水費

六五

三、七、〇、〇 紙漉職工二人ノ食料三ヶ月分
 一〇、二、〇、〇 小工四人ノ給料三ヶ月分
 一八、〇、〇 司草並ニ小工ノ煙草檳榔代
 四二、〇、〇 乾燥人夫ノ勞銀二百六十人分
 二、六、〇 乾燥人夫檳榔代
 一八、〇、〇 包裝費割竹共
 一九、五、〇 牛ノ借料三ヶ月分
 五、〇、〇 船及工場修繕費
 四六、〇、〇 流通資本ノ利息
 九、六、〇 解築造費ノ利息
 一、三、三、〇 工場建築費ノ利息
 一、二、六、〇、〇 嘉義マテノ運賃
 九、〇、〇 口銭
 六六二、〇、〇 右合計
 差引純益 五十七元九角六分
 白皮製造者ノ收支計算
 三、七、五、〇、〇 三千粒ノ賣上代金
 百粒百二十五元カ (嘉義相場)

六六

九〇、〇、〇 三千樽ノ筒購入代金
 四、〇、〇 千歩以外ヨリノ引水費
 三六〇、〇、〇 一千八百斤ノ石灰代金
 二一〇、〇、〇 伐採ヨリ運搬マテノ受負賃
 二四、〇、〇 浸水費
 四二、〇、〇 再浸水費
 三〇、〇、〇 掃除費
 三六〇、〇、〇 棒紙費
 三六〇、〇、〇 焙紙費
 三二五、〇、〇 焙紙用草六人焙紙司草十四人
 都合十人ノ食料七ヶ月分
 五三九、〇、〇 小工八人採薪夫一人都合
 九人ノ給料七ヶ月分
 一三三、〇、〇 備具全部十九人ノ
 煙草及檳榔代
 二二、〇、〇 包裝費(割竹トモ)
 三五、〇、〇 石油十四罐代
 一四、〇、〇 牛四頭ノ食料七ヶ月分
 四〇、〇、〇 牛四頭購入費ノ利息及買替基金
 四八、〇、〇 解築造費ノ利息

百樽三元カ
 工敷十工、工四角ノ割
 一担二百元カ
 竹林ノ距離一里内外
 百担七元ノ割
 百担八角ノ割
 百担一元四角ノ割
 百担一點ノ割
 一粒一角二點ノ割
 同前
 一ヶ月四元五角ノ割
 八元ノ小工四人、九元ノ小工四人
 九元ノ採薪夫一人
 一人一ヶ月一元ノ割
 一粒七厘ノ割
 一罐二元五角ノ割

年二割
 年二割
 年一割

六七

三、六二 工場建築費ノ利子
 二五三、七〇 營業資本ノ利子
 五四〇、〇〇 嘉義マテノ運賃
 六〇、〇〇 口錢
 三、五一〇、三三二 右合計
 六八
 同前
 同前
 一粒一角八點
 百粒三元ノ割

蓋シ斯クノ如キハ生産費ヲ可成高目ニ見積リタルモノナルヲ以テ其ノ純益ハ極メテ僅少ナリト雖モ
 生産費中ニハ尙節約シ得ヘキモノ少カラサルヲ以テ實際、ヨリ多クノ純益ヲ得ヘキヤ明カナリ
 右ノ計算ニ依ルトキハ半街製造者ハ六百六十二元ヲ費シテ純益九十七元九角六點ヲ得白皮製造者ハ
 三千五百十元ヲ費シテ純益二百二十九元餘ヲ得ルニ過キスト雖モ其ノ生産費ハ少クトモ五分ヲ節約
 シ得ヘキカ故ニ半街製造者ハ少クトモ約九十元、白皮製造者ハ少クトモ四百十元内外ノ純益ヲ得ル
 コト難カラスシテ前者ハ少クモ生産費ノ約一割五六分後者ハ一割二三分ヲ益スルヲ得ヘシ

三十、竹紙買買業

本品ノ賣買チノミ管ムモノハ專業ト兼業トノ二種アリ地方市場ノ紙行ハ多ク兼業ニシテ嘉義ノ紙行
 ト雖モ兼業ノモノ少カラスシテ專業ノモノ多カラス今主産地ニ於ケル紙行ノ店號ヲ擧クレハ左ノ
 如シ
 紙行ノ住所及店號

嘉義	布街	金本立
同	善仔市街	慶發、長興
同	紅毛井街	義昌、全順
同	城隍廟口	勝興
同	西門街	鼎昌、聯興、金振山、振春
同	北門內	志順、全美
同	北門口	泰順、源德、全泰
同	東門	瑞昌
同	西門外	全利、義盛
同	教場埔頭	興發
梅仔	坑	勝興、連發、修德、洽德、義和、源茂、裕益、日利、隆興、謝輝
竹頭	崎	陳清課、源美、永順、榮興、郭桂房
鹿頭	產	連益、合發、興盛、謙和、合昌、德芳
鹿頭	六	捷發、和記、新隆發
林	埔	振茂、乾和、源隆
林	埔	勝隆、錦源、錦棉、義春

此等ノ臺北、桃園、新竹、南投、鹽水港島下ノ産品ヲ取扱フ所ノ小紙店ト等シク一面ニ於テ同地附
 近ノ雜貨店若クハ禮拜紙製造業者ニ本品ヲ供給スルハ論ナラ他面ニ於テハ盛ニ他市場ノ紙行若クハ

雜貨問屋ト交渉シテ之レカ搬出チカムルモノトス林圪埔ノ紙行ハ之ヲ北中若クハ斗六ニ埃頭厝ノモ
ノ斗六及他里霧地方ニ梅仔坑ノモノハ竹頭崎、嘉義、北港地方ニ竹頭崎、鹿麻產、內埔、灣口、
中埔ノモノハ專ヲ嘉義ニ嘉義ノモノハ北港、朴仔脚、鹽水港、臺南等ニ搬出シ關稅增加ノ爲メ一時
紙價ヲ暴騰セシメタル今日ニ於テハ臺北ニモ盛ニ之ヲ搬出ス斯クノ如キハ專ヲ直接取引ニシテ近接
市場ノ間ニ於テモ米及砂糖ノ場合ノ如ク仲立人ヲ介スルコトナク直接ニ各地各行ノ紙價ヲ引合ヒタ
ル後賣買契約ヲナスモノニシテ委託ニ付スルモノハ頗ル稀ナリトス故ニ貨物受渡ノ方法モ極メテ單
純ニシテ單ニ注文ニ應ジテ交付若クハ發送スルニ過キス代金受渡ノ方法ハ現金若クハ隨時拂ニシテ
定期拂即チ期數ト關スルモノハ少シト云フ代金計算ノ本位ハ總テ六八銀ニシテ臺北及臺南ノ取引
ノ金券勘定チナスニ過キス斯クノ如クニシテ各地ニ搬出セラレタルモノハ同地ノ雜貨店若クハ禮
拜紙製造業者ノ手ヲ經テ悉ク地方消費ニ充テラレルモノニシテ皆テ島外ニ輸出セラレタルコトナシ

三十一、競爭品

現時本品ノ實行ハ前年十月以來ノ關稅增加ニ依リ本島ヲ通シテ頗ル良好ナリト雖モ之レト用途ヲ等
フシテ動モスレハ其ノ販路ヲ侵蝕セシトスルモノ少カラズ古新聞紙ノ如キハ即チ其ノ一ナリ臺北附
近ニ於テハ包裝用トシテ近來右新聞紙ヲ利用スルモノ頗ル増加シタルヲ以テ包裝用トシテノ本品ノ
需用ハ著シク減縮スルニ至リタリ蓋シテ斯クノ如キハ北部地方ノ一部ノ用途ニ過キサルヲ以テ本品ノ
運命ニ關係スルコト甚タ多カラズト雖モ輸入粗唐紙ノ如キハ全然其ノ種類ト用途トヲ等フシテ
其ノ品質ハ遙カニ本島品ニ優リ其ノ原價ハ極メテ廉ナルヲ以テ關稅率ノ如何ニ依リ直チニ本品ニ影

七〇

響シテ其ノ運命ヲ左右スルコト甚タ大ナリ該粗唐紙ハ前年十月ノ關稅改正以前ニ在リテハ盛ニ本島
ニ輸入セラレ獨リ北部及中部ノ市場ヲ壟斷セシメタラス柱々本島品ノ消費地タル南部市場ヲモ侵
蝕セントスルノ形勢ナリシナリ其後ニ至リ重稅ノ賦課ニ依リ大打擊ヲ受ケ殆シト其ノ輸入ヲ杜絕
スルニ至リタリト雖モ本年ノ十月ニ至リテ關稅減少スレハ再ヒ侵入シ來リテ本島品ノ販路ヲ蠶蝕シ
少クトモ北部ノ市場ヲ回復スルヤ甚タ明カナリ輸入粗唐紙ノ主ナルモノハ甲紙トス甲紙ハ本島產ノ
白皮ト等シク主トシテ禮拜紙ノ製造用ニ供セラルト雖モ白皮ニ優ルコト數等、甲紙ニ二種アリ温
州ヨリ來ルモノヲ温甲、烏甲若クハ元甲ト云ヒ巾七寸五分長一尺六寸五分チ二百枚チ一塊トシ二塊
チ一担トス其量五十一、二斤ニシテ温州ノ仕入直段ハ約一圓五六十錢トス福州ヨリ來ルモノヲ福甲
若クハ永甲ト云ヒ巾九寸五分乃至一尺長二尺內外二百枚チ一刀トシ六刀チ一塊トシ四塊チ一担トス
其量六十四斤ニシテ其ノ福州相場ハ二塊ニ付一兩〇五分乃至一兩一錢即チ一圓五六錢トス之ニ
次クハ温州ヨリ來ル所ノ南屏紙トス其ノ中大ニシテ且ツ厚キハ大南屏紙ト云ヒ本島產ノ大棉ニ類ス
ルモノニシテ其ノ用途モ大棉ト等シク雜貨包裝用若クハ銀紙製造用ニ供セラル巾ハ七寸五分長ハ九
寸一千枚チ一塊トス其量二十五斤ニシテ其ノ原價ハ元甲ヨリ稍廉ナリ小南屏紙ハ前者ヨリ形小ニシ
テ地合薄ク其ノ用途ハ本島產ノ重紙ノ如ク專ヲ雜貨ノ包裝用トス其巾六寸五分長八寸一千枚チ一塊
トス其量二十二斤ニシテ其ノ原價ハ大南屏紙ヨリ稍廉ナリ右ノ外廈門、石碼、泉州附近ヨリ來ル所
ノ大粗及ヒ粗仔アリ大粗ハ本島ノ大棉ニ類シ其ノ用途モ略ホ之ニ等シト雖モ品質ハ之ニ優レリ其ノ
形ハ全ク本島ノ大粗ト異ニシテ大棉ニ似タリ即チ其ノ巾一尺一、二寸長サ二尺五寸四枚チ以テ一
易トシ二十易チ以テ一刀トス粗仔ハ半仿及薄仔ニ類シ其ノ用途モ此等ト等シク雜貨包裝用ニ供セラ

七一

ルカ將ダ銀紙製造用ニ消費セラルルモノニシテ由ハ八寸乃至九寸長ハ一尺六寸乃至一尺九寸四枚ヲ以テ一易トシ二十易ヲ以テ一刀トナスコト大粗ニ同シ此ノ二種ハ價格廉ナリト雖モ其ノ輸入量多カラス

然リト雖モ此等各種ノ粗唐紙ヲ合算スルトキハ其量頗ル多ク輸入各紙總額ノ殆ント七八割ヲ占ム其ノ精確ナル價額ハ三十九年以前ハ貿易統計ニ特掲セサリシ爲メ明示スルニ難シト雖モ多キハ二十五六萬圓ニ達シ少キモ二十萬圓ヲ下シサルヘシ四十年ニ於テハ關稅增加ノ爲メ漸ク其ノ輸入量減少シ一月ヨリ九月マテハ一二回ノ輸入ヲ見タルニ過キスシテ十月以降三ヶ月間ニ可ナリノ輸入ヲ見タルニ止マルモ其量僅ニ十萬圓以上ニ達セリ即チ左ノ如シ

四十年中粗唐紙輸入量港別表

港	數量	價額
基隆	5,000,000	1,200,000
淡水	2,000,000	400,000
梧棲	1,000,000	200,000
後港	1,000,000	200,000
鹿港	1,000,000	200,000
安平	1,000,000	200,000
打狗	1,000,000	200,000
東港	1,000,000	200,000
計	13,000,000	2,600,000

此等ハ單ニ目下ノ競争品ニシテ若シモ後來其ノ製法ヲ改良シテ他ノ優等紙ヲモ生産スルニ至ラハ前記輸入粗唐紙ノ外尙ホ幾多ノ競争品ヲ見ルヘシ曰ク唐紙(粗唐紙以外ノ)牛皮紙、洋紙及和紙等即チ之レナリ唐紙ハ其ノ種類甚タ多ク茶及煙草包裝用紙トシテ特定ノ目的ニ使用スヘク輸入セラルルモノノ外書畫用其他各種ノ用途ニ對シテ厚紙、官紙、厚紙、薄紙、時紙、桂山、木尾、三六絲紙、四方紙、双連四方、貢川、貢刺、刈信、寶昌、福建、治文等ノ無着色紙、各種色紙、色粉、色等研ノ着色紙、

並ニ全紙、信紙、書箋等ノ書簡紙ノ輸入アリ樹皮紙ハ構其他ノ樹皮ヲ以テ清國ニ於テ抄造シタルモノニシテ抄紙及編紙ノ二種ニ別ツテ得ヘク二種トモ和紙ニ類似ス其ノ輸入量ハ甚タ多カラスト雖モ外國輸入貿易表中其ノ他ノ紙ト稱スルモノハ大部分本品ヨリ成ルモノトス洋紙ハ時トシテ香港若クハ歐米ヨリ輸入セラルト雖モ此等ハ主トシテ書簡紙ニシテ其量極メテ少ク多クハ内地ヨリ移入スル新聞用紙其他ノ印刷用紙トス和紙ハ勿論美濃紙半紙並ニ廉紙ヲ主トスルモノトス若シ夫レ本島ニ輸入及移入スル諸紙ヲ合算スルトキハ其量頗ル多ク貿易統計ニ現ハレタル所ノミニテモ大凡ソ左ノ如クナルヘシ

最近五ヶ年間諸紙輸入及移入高表

年次	三十九年		三十八年		三十七年		三十六年	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
外	茶包	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000
	煙草包	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000
	其他	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000
	唐著	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000
	紙組	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000
	唐其他	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000
	紙	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000
	用紙	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000
	其他	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000
	計	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000
内	洋紙	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000
	和紙	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000
	其他	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000
	計	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000
	移入	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000
	其他	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000
	計	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000
	合計	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000
	其他	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000
	計	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000	100,000	1,000,000

四十一年	四十一年	四十一年	四十一年	四十一年	四十一年	四十一年	四十一年	四十一年	四十一年
...

七四

- 備考 一、煙草包裝用紙ハ煙草專賣制實施ノ結果三十九年以降輸入ヲ杜絶ス
- 二、其他ノ包裝用紙ハ四十年以降其ノ他ノ唐紙中ニ編入セラル
- 三、着色唐紙並ニ粗唐紙ハ三十九年マテハ其ノ他ノ唐紙中ニ編入セラル
- 四、壁紙ハ四十年以降一部其ノ他ノ唐紙ニ、一部其他ノ諸紙ニ編入セラル
- 五、煙草用紙ハ四十年以降其他ノ諸紙中ニ含ム
- 六、和紙ハ三十九年マテハ其他ノ紙中ニ含ム

三十二、竹紙製造業ノ將來

上來既ニ述ヘ去リタル如ク本島ニ於ケル竹紙ノ製法ハ支那傳來ノ粗製法ニシテ輸入品ノ製法ト同一ナリト雖モ其ノ技術未熟ナルヲ以テ製品ノ品質ハ適カニ輸入品ニ劣リ然カモ其ノ生産費ハ勞銀並ニ物價ノ高値ナル爲メ輸入品ニ比スレハ却テ多額ナルヲ以テ若シ現時ノ狀態ニシテ未ダ變革スル能ハスハ本年十月以降ハ輸入品ノ壓迫ヲ受ケ北部ノ販路ヲ失ヒテ再ヒ南部ノ市場ニ退却シ僅カニ從來ノ販路ヲ維持スルニ止マリテ長ヘニ發展スルコト能ハサルヘシ然リト雖モ元來本島ニ於テハ竹紙ノ需用既ニ宏大ナルニ原料ヲ產出スヘキ竹林ニ富ムト同時ニ竹林ヲ仕立ツヘキ山地亦ダ少カラサルヲ以テ當局ノ指導並ニ營業者ノ經營ニシテ宜シキニ從ヘハ斯業ノ前途必スシモ悲觀スヘキニアラサルナリ熟々斯業ノ現狀ヲ惟ルニ障礙ノ除クヘキモノ改善ノ施コスヘキモノ一ニシテ足ラス其ノ主ナル

モノヲ擧グレハ即チ左ノ如シ

- 一、廉價ナル石灰ヲ供給スルコト
 - 二、低利ナル資本ヲ供給スルコト
 - 三、運搬費ヲ低減スルコト
 - 四、組織ヲ變更シテ機械ヲ利用スルコト
- 一、製紙場ニ於テ消費スル物品ニシテ購入價格ノ最モ多キニ達スルハ石灰トス其ノ價格ハ臺北ニ於テハ百斤六十錢内外ナルニ係ラス嘉義廳下ノ石灰ノ原產地タル公田庄ニ於テハ豐富ナル石灰石層ト饒多ナル燃料ヲ有スルニ拘ラス一車即チ千斤ニ付八元ニシテ其ノ下流ナル大寮脚、機仔脚若クハ社寮金ニ於テハ十二元ノ高價ヲ唱フ原料豐富ニシテ然カモ其價貴キハ頗ル怪シムヘシ或ハ日ク之レ石灰ニ依リ保田費用ヲ徵收スルカ爲メナリト果シテ眞ナルヤ否ヤヲ知ラスト雖モ兎モ角其ノ價高キヲ以テ製紙業ノ阻碍トナルコト少カラズ此ノ障礙ヲ除カンカ爲メ製紙業者ヲ懲罰シテ組合ヲ組織セシメテ石灰ヲ製造セシムルカ將タ他ノ方法ヲ以テ石灰製造業者ヲ増加セシメ互ニ競争セシメテ其ノ價格ヲ低落セシムルノ策ヲ講セサルヘカラス
- 二、本島ノ問屋ハ農家並ニ工業家ニ對シ偉大ナル權力ヲ奮ヒテ專横ヲ逞フシ一面ニ於テ高價ニ消費物ヲ賣付ケ他面ニ於テハ廉價ニ生産品ヲ買受クルヲ當トス之レ資金ノ貸借ニ基ク所ノ弊風ニ外ナラス紙行ト紙寮トノ間ニ於テモ亦タ此ノ弊風ヲ脱スル能ハスシテ多クハ紙寮ハ紙行ヨリ營業資本ヲ借入レ陰ニ陽ニ少カラサル高利ノ誅求ヲ蒙ル此ノ弊風ヲ除カンカ爲メニハ製紙業者ヲシテ信用組合ヲ組織セシメ互ニ資金ノ融通ヲ圖ラシムルカ將タ他ノ銀行家ヲシテ特ニ

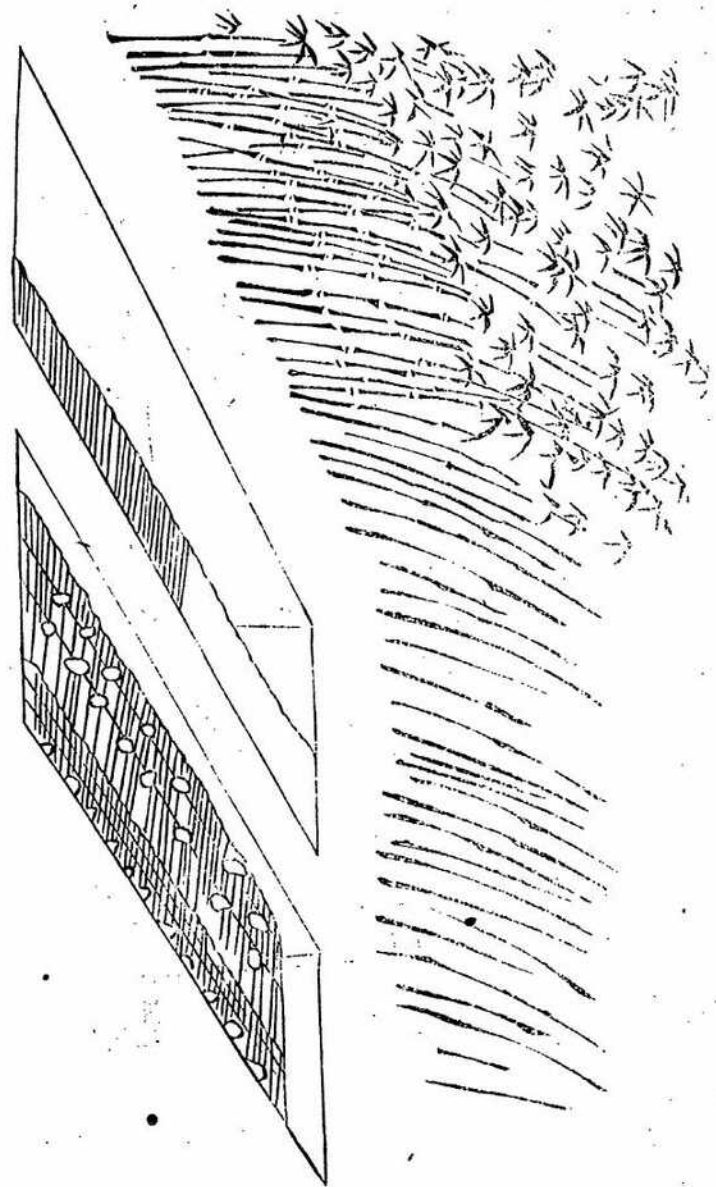
七五

三、製紙場ハ總テ山陵ノ中腹ニ在ルヲ以テ消費物若クハ生産品ヲ運搬スル道路ハ一般ニ險惡ナルヲ當トスト雖モ其ノ一部ハ修理ヲ加フルニ於テハ車力ノ回轉ニ便スルヲ得ヘシ斯クノ如クニシテ人肩ニ替ユルニ車力ヲ以テセハ運搬費ノ幾分ヲ減スルヲ得ヘシ而シテ現時嘉義ヨリ臺北ニ至ル白皮ノ運賃ハ一担即チ六十四斤ニ付一圓二十錢ニシテ温州ヨリ淡水ニ至ル元甲ノ運賃ハ一担即チ五十一斤ニ付三十錢福州ヨリ淡水ニ至ル永甲ノ運賃一担六十五斤乃至七十五斤ニ付三十錢ナルニ比スレハ約三倍乃至四倍ニ相當スルヲ以テ輸入品ニ對スル競爭上本島品ハ頗ル不利ナル地位ニ在ルモノトス故ニ若シモ能フヘクハ鐵道部ニ請願シテ割引ノ承諾ヲ得ハ又其ノ幾部分ヲ減少スルヲ得ヘシ

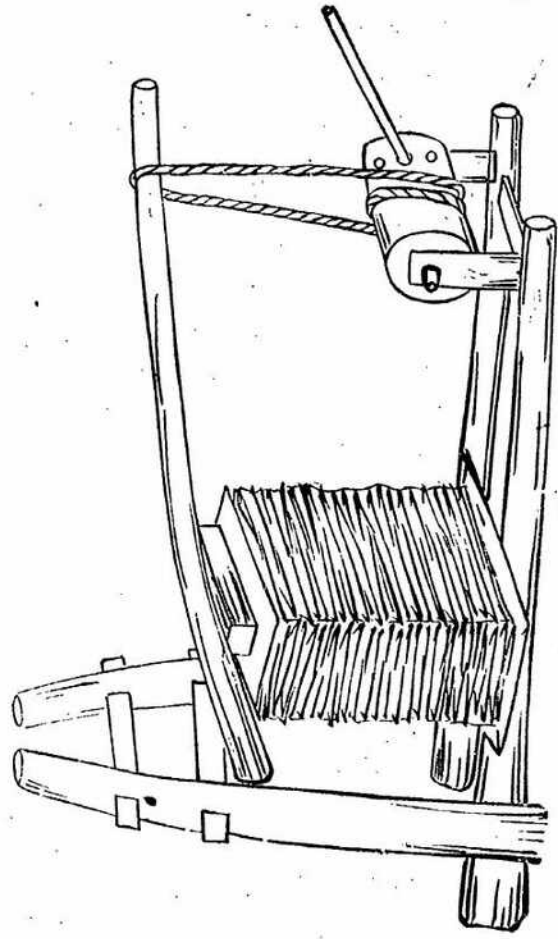
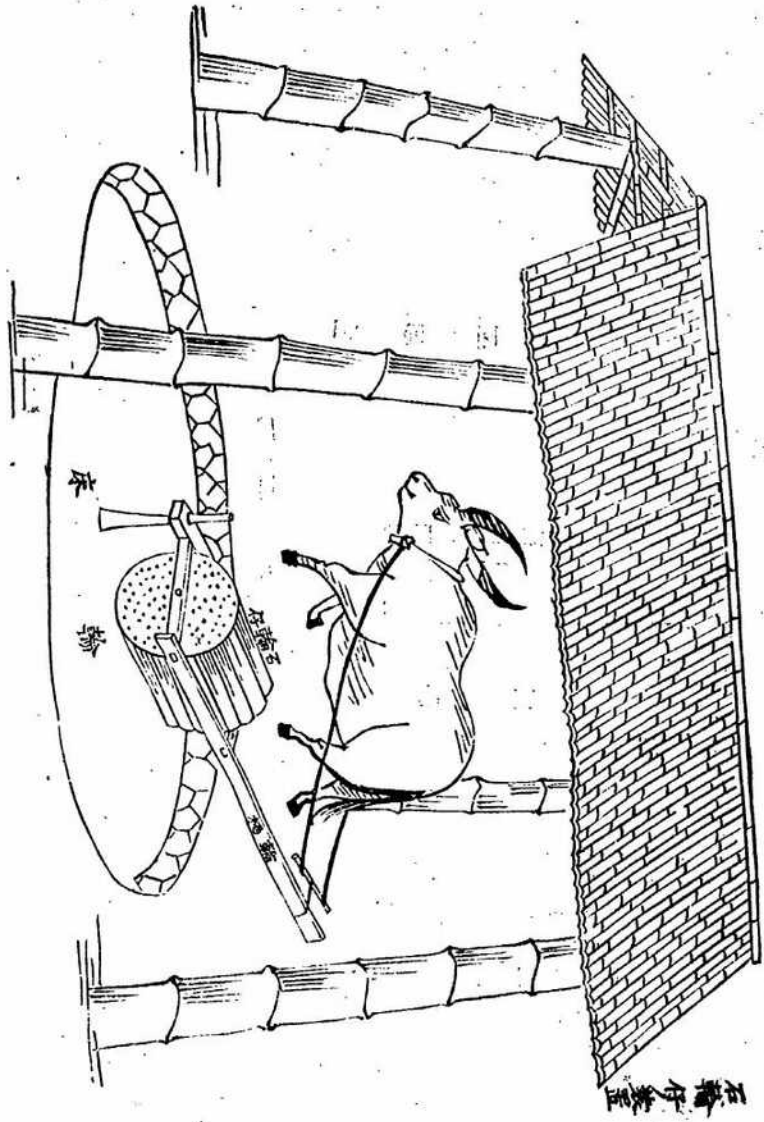
四、現時竹ヲ浸水スルニ先チ之ヲ處理スルニハ單ニ之ヲ二ツ割若クハ四ツ割トナスニ過キサルヲ以テ之ヲ崩解シテ纖維ヲ分離スルニ頗ル長日月ヲ要スト雖モ壓搾器ヲ用ヰテ之ヲ破碎スルトキハ崩解作用ヲ速カナラシムルト同時ニ資本ノ回轉ヲモ速カニシテ多少ノ利子ヲ節スルヲ得ヘク又纖維ヲ破碎スルニハ石輪仔及對仔ト稱スル粗器ヲ用フルニ過キサルヲ以テ時間ヲ要スルコト多クシテ然カモ精細ニ破碎スル能ハスト雖モビ一ヲ用ヰテ破碎スルトキハ容易ニ其ノ纖維ヲ細破シ得ヘキノミナラス善良ナル纖維ヲ採收シ得ヘク而シテ又現今生紙ヲ漉製シ乾燥スルニハ全ク手工ニ依ルヲ以テ勞力ヲ要スルコト頗ル多ク之レカ爲メ生産費ヲ増嵩スルコト少カラスト雖モ若シ新式ノ機械ヲ用ヰテ之ヲ漉製スルト同時ニ乾燥スルトキハ其ノ勞力ヲ節シテ生産費ヲ減スルコト寔ニ堪カラサルヘシ

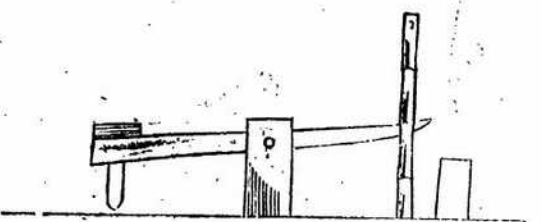
然リト雖モ之ヲナスニハ多量ノ用水ト動力トヲ要スルヲ以テ竹林到ル所ニ斯クノ如キ設備ヲ施スト得ス自ラ用水ト動力トヲ得ルニ便ナル地點ヲ選擇セサルヘカヲス斯クノ如クスルトキハ自ラ原料ノ採收ト本製造ト分離セサルヘカヲサルノ必要ヲ惹起スヘシ故ニ場合ニ依リテハ目下福建省ニ於テ行ハルルカ如ク原料調製業ト本製紙業トヲ分離シ山方ニ於テハ專ラ原料ヲ調製シ工場ニ於テハ之ヲ買收シテ前記ノ改良法ニ依リ之ヲ抄造スルノ道ヲ講スルヲ以テ先決問題トナスヘシ

若シ斯クノ如クニシテ現狀ヲ改良スルトキハ生産費ヲ節約スルコト少カラサルヲ以テ容易ニ輸入品ト競爭シ得ヘキノミナラス收益ヲ見ルコトモ多少増加シテ初メ本業ノ發達ヲ庶幾シ得ヘシ然リト雖モ百尺竿頭更ニ一步ヲ進メ根本的ニ本島製紙ノ將來ヲ放フルトキハ茲ヲ以テ粗唐紙製竹ヲ以テ別種ノ製紙原料トナスヲ得ハ更ニ一層ノ得策トナスヤモ知ルヘカヲス蓋シ諸紙ハ之ヲ燃燒スレハ其ノ灰黑色トナルノ欠點アルヲ以テ金紙ノ原料ニハ適セサレトモ銀紙ノ原料トシテ些毛差聞ヘ之ヲキノミナラス包装用トシテ却テ竹製粗唐紙ニ優ルコト明カナルカ故ニ茲ニ以テ粗唐紙ノ模造品ニ製造セシムルコトハ一個ノ營利事業トシテ頗ル有利ナルノミナラス事業開拓上亦將ニ多量ナルヘキヲ確信スルコト久シ抑モ臺灣本島ニ產出スルコト甚タ夥多ナルノミナラス利用ノ途内地ニ於ケルカ如ク廣カラサルヲ以テ其ノ價モ比較的低廉ナルモノトス故ニ若シ之ヲ以テ模造粗唐紙ニ製造セシムルカ需用ニ應ジテ廉價ニ幾多ノ生産ヲモナスヲ得ヘシ少クトモ目下本島ニ產出及輸入スル粗唐紙ノ約半額即チ銀紙製造用及包装用ニ供セラルヘキ部分ハ模造粗唐紙ノ優ニ生産シ得ヘキ範圍ト稱シテ可ナリ若シ此ノ上ニ其灰ノ黑色トナル欠點ヲ除去スルヲ得ハ更ニ其ノ需用ヲ増加シテ速カニ島内ノ

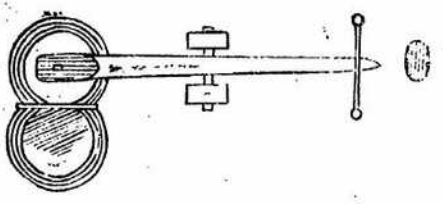


消費額充足シ直チニ竹製粗唐紙ノ輸入ヲ防遏スルニ止マラス却テ之ヲ輸出セサルヘカヲサレニ至
 ルヘシ若シ斯ル曉ニ達セハ本島ノ竹製粗唐紙モ自ラ輸入品ト同一ノ運命ニ陥リテ或ハ衰滅ニ歸セサ
 ルヲ保セス是ニ於テカ之レカ救済策トシテ本島製紙ノ根本的の改革ヲ必要トスヘシ即チ詳言スレハ第
 一以テ粗唐紙ヲ製造スルヲ止メ速ニ成竹ヲ以テ他ノ製紙原料トナスノ方法ヲ講スルヲ要スヘシ原來
 第ニ以テ製紙原料トナスハ竹林ヲ保存スル所以ニアラス成竹ヲ用ユレハ竹林ノ保存上極メテ良好ナ
 ルノミナラス原則トシテ多量ノ纖維ヲ採收シ得ルノ利アリ之ヲ以テ製紙ヲ營ムニハ多少廣大ナル設
 備ヲ要シ比較的多量ノ動力ヲ要スヘシト雖モ後來嘉義地方ニ發電所ノ設立ヲ待チ之ヲ同地方到ル所
 ノ竹林ニ導キ各地ニ於テ之ヲ原料ノ調製ニ利用シ更ニ二三ノ要地ヲ撰ミテ抄紙工場ヲ設置シ各地ニ
 於テ調製シタル原料ヲ茲ニ集中シテ之ヲ各種製紙ニ抄造スルノ策ヲ講セハ所期ノ目的ヲ達スルヲ得
 ヘシ斯クノ加クニシテ一方ニ於テ葉ヲ以テ盛ニ相紙ヲ澆造シ他方ニ於テ竹ヲ以テ餘ニ諸紙ヲ抄製ス
 ルトキハ本島ノ本業ヤ極メテ多幸其ノ前途ヤ頗ル好望ナルヘシ



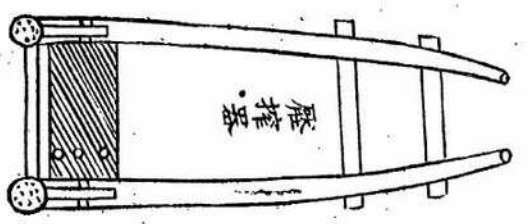


側面圖

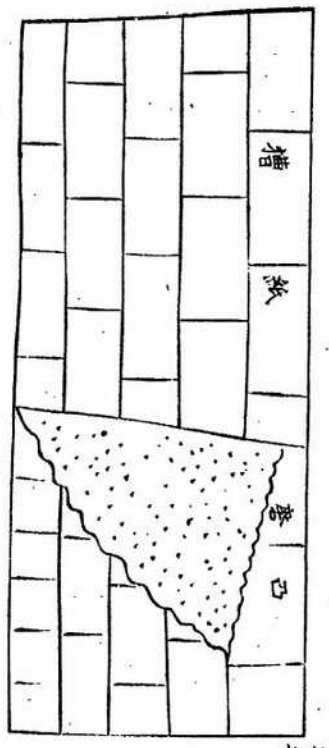


平面圖

圖 10

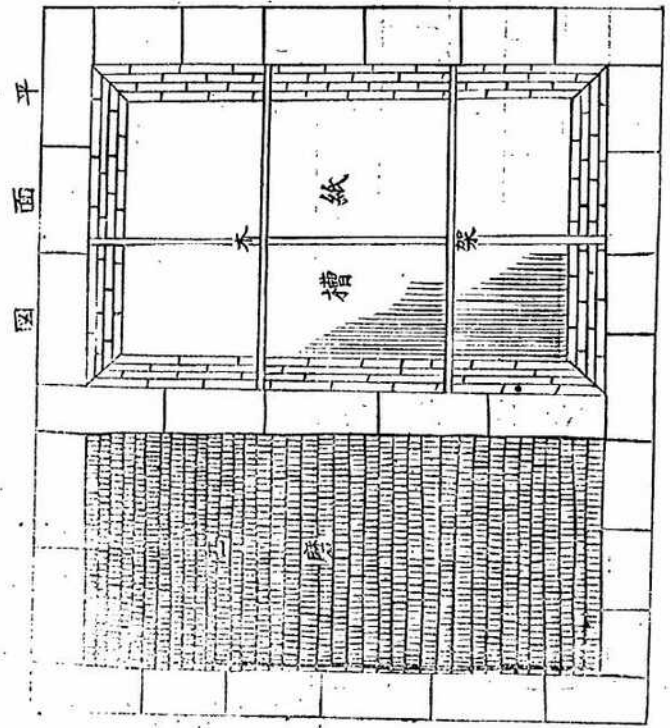
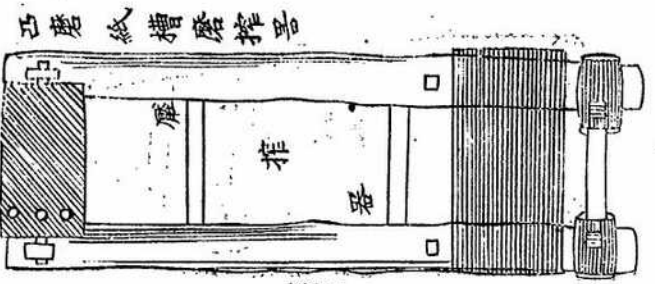


壓榨器

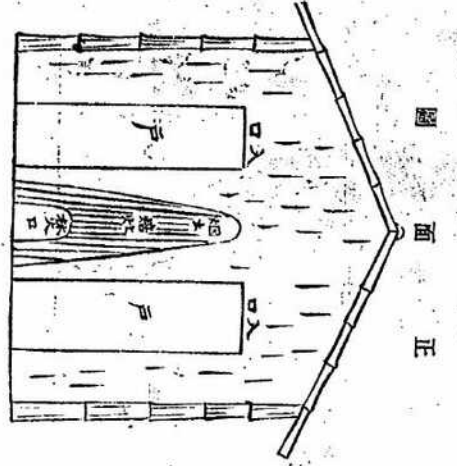


壓榨器及榨槽

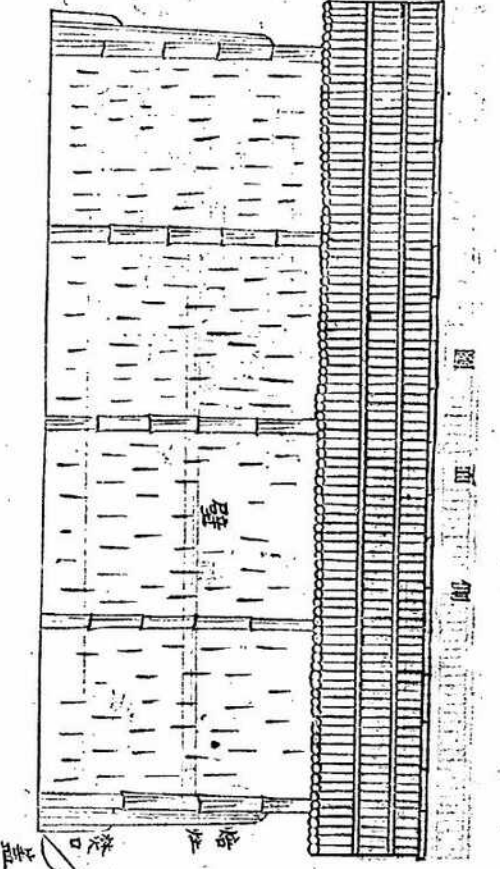
側面圖



平面圖



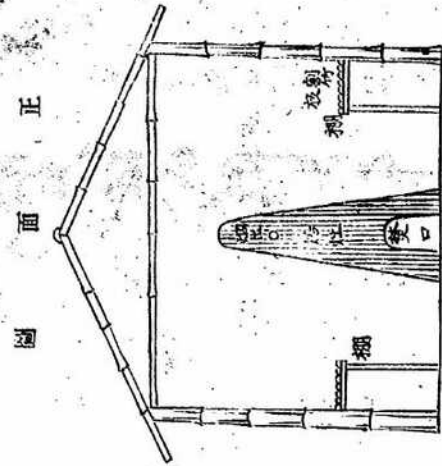
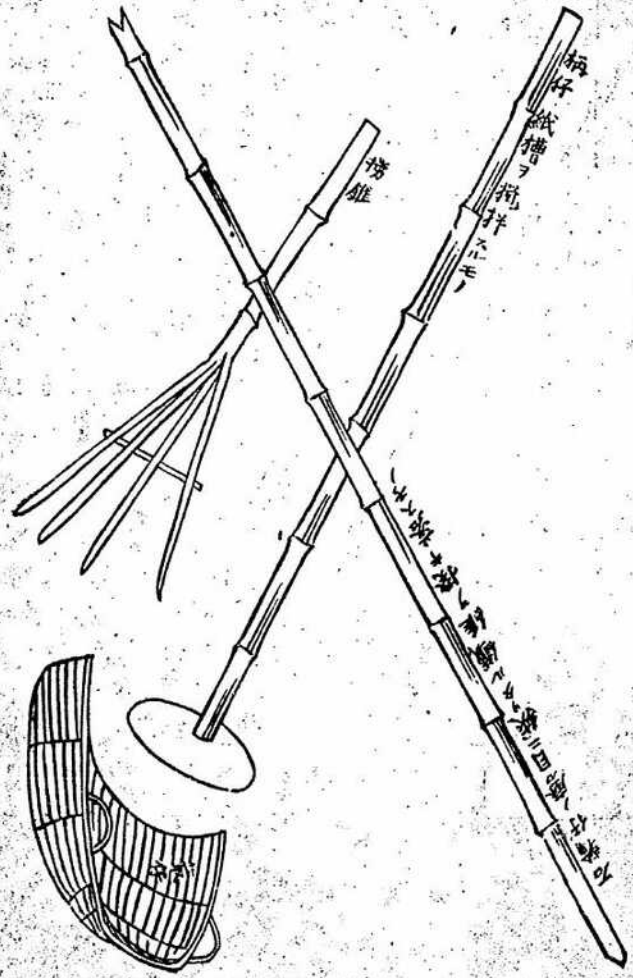
正面圖



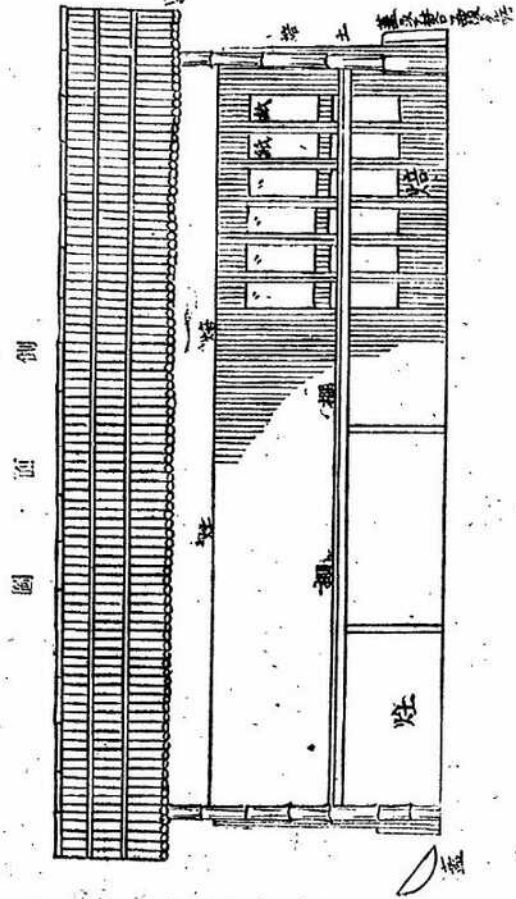
側面圖

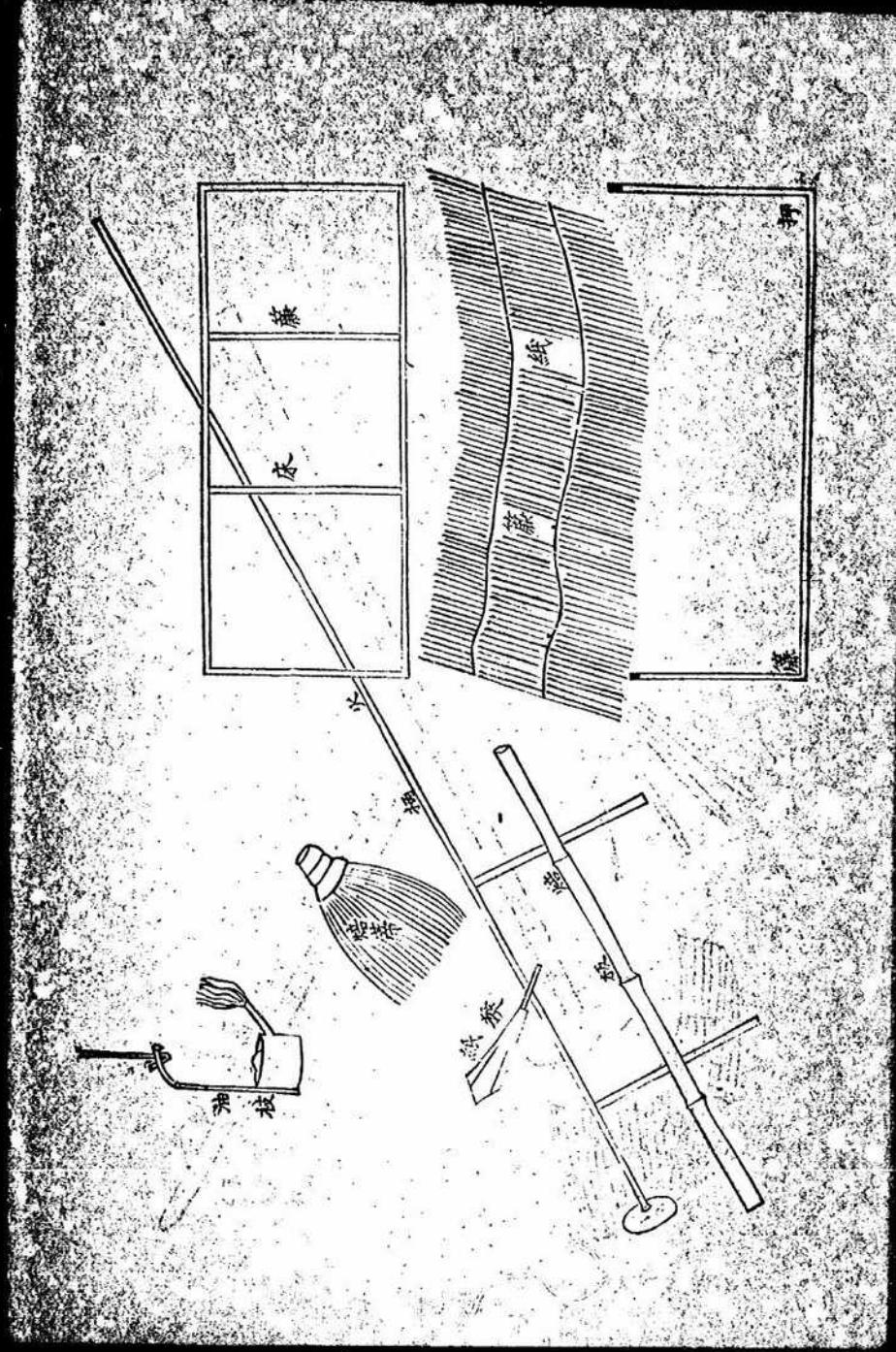
機外外部より見たモル

蓋 開口



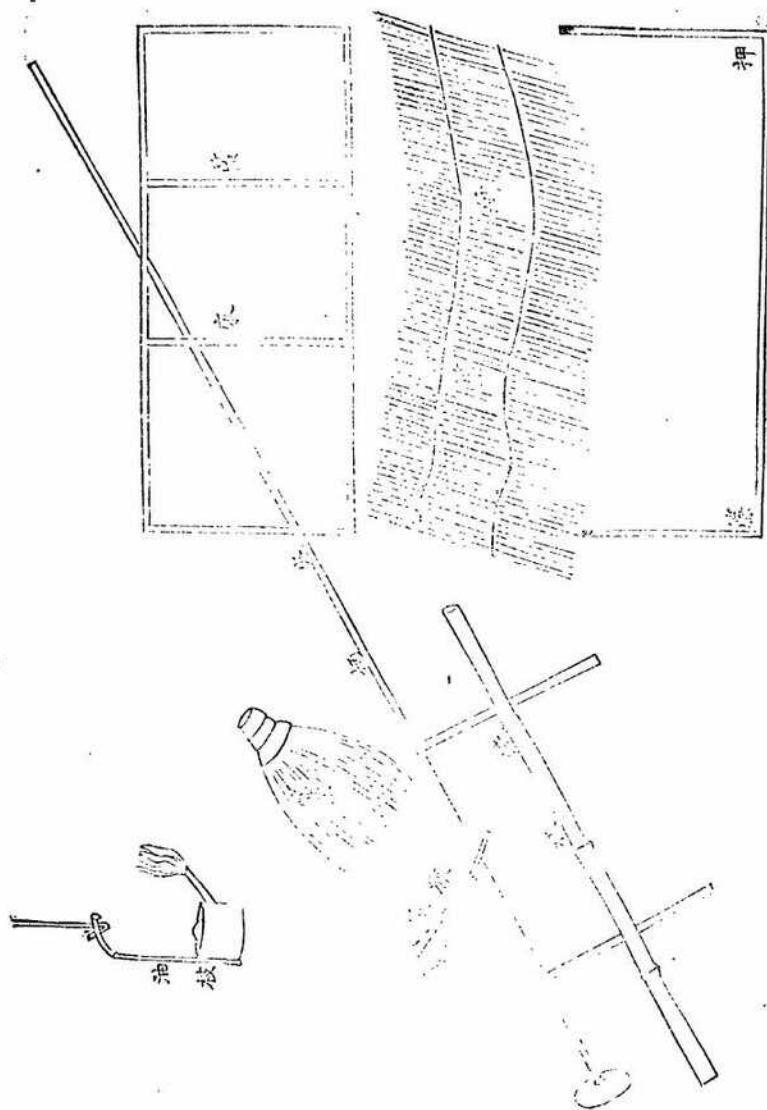
燈臺壁ヲ取去リテ内部ヲ見タルモノ





露光量違いにより重複撮影

清國製紙業地視察録



露光量違いにより重複撮影

清國製紙業地視察録目次

- 一、唐紙概論
- 二、上等唐紙生産地及其狀況
- 三、連城及龍岩ニ於ケル製紙地ノ概況
- 四、竹ノ種類
- 五、竹林ト樹林
- 六、竹林ノ收入
- 七、竹絲ノ製造
- 八、唐紙ノ製造
- 九、唐紙ノ種類
- 十、唐紙ノ山地ニ於ケル價格
- 十一、唐紙ノ海口ニ出ツル運賃及厘金
- 十二、唐紙ノ産額
- 十三、唐紙ノ將來
- 十四、唐紙ノ輸出
- 十五、唐紙ノ製造經濟
- 十六、製紙地方ニ於ケル農産物

- 十七、製紙地方ニ於ケル物價
- 十八、製紙地方ニ於ケル衡器
- 十九、製紙地方ニ於ケル貨幣

清國製紙業地視察録

一、唐紙概論

唐紙ハ古來支那民族カ寫字、描畫、印刷、包裝、禮拜其他日常各種ノ用ニ供シ來リシ重要ナル物品ニシテ其消費額ハ口別比例ニ於テハ少量ナリト雖モ國民全体ノ上ニ於テハ甚ダ多量ナリ之カ主產地ハ福建、江西ノ二省ニシテ浙江、安徽、湖南、廣東等ノ諸省モ又少量ヲ産ス就中上等唐紙ハ福建、江西ノ高山地方ニシテ産シ他ノ地方ニ産出セザレトモ粗唐紙ハ前記諸省ノ山地到處ノ竹林ニリ産出ス故ニ上等唐紙ノ産額ハ比較的少量ナレトモ粗唐紙ノ産額ハ頗ル多量ナリ其原料ハ皆竹絲ノミニシテ他物ヲ混交スルコトナシト言ヒ或ハ他物ヲ混交スルモノナリト稱シ唐紙ノ製造法ハ秘密中ノ秘密ニシテ内外人共ニ曾テ之ヲ實見セシモノナクハ今日尙ホ其製造ノ方法、原料ノ種類、生産地ノ狀況、運搬ノ模様等ヲ知識シ説明スルモノナシト言フ是レ吾人カ唐紙製造地視察ヲ企圖セシ所以ナリ吾人ハ明治三十九年五月十四日厦門ヲ出發シ途中河溪、上坪、嶺下、龍潭、長流、大派、海溪(炭)坎頭、青草嶺、浮嶺頭、船港(炭)南洋嶺、東股店、陳坡、龍岩、龍門、七就油、平林、鳳老等ノ煙草産地炭礦坑地ヲ通過シ進テ革崗、蓋鼎等ノ峻嶺ヲ越ヘ同月廿四日連城縣東部ノ山地大東溪ニ着シ漸ク上等唐紙製造ノ狀況ヲ一瞥シ歸途梅村頭及梧宅等ニ於ケル製造狀況ヲモ瞥見シテ六月四日厦門ニ歸着セリ此行ニ於テ海拔二千尺乃至五千尺ト稱スル山嶺ヲ越ユルコト十一回五千尺乃至八千尺ト稱スル山嶺ヲ越ユルコト五回前後十六個ノ山嶺ヲ踏破シテ僅カニ上等唐紙製造地ノ一部ヲ視察シ得タルモノナリ若シ夫レ製紙地方全部ノ視察ヲナサレカ尙ホ多大ノ日子ヲ費シ幾多ノ山嶺ヲ踏破

セサレハカラス是レ上等唐紙ノ製造ナスニハ多量ノ清水ヲ要スルト同時ニ其原料タル竹等ヲ産スル大竹林カスル高山峻嶺ノ間ニ非ラサレハ存在セサルニ由ルモノナリ左ニ其概況ヲ摘録ス

二、上等唐紙生産地及其狀況

福建江西ニ於ケル上等唐紙ノ生産地ハ是等兩省ニ於ケル諸川ノ源頭ヲナセル處ノ山地ニシテ其主要ナル地方ヲ福建ノ連城縣上杭縣龍岩州及永安縣、江西ノ玉山縣廣豐縣漢溪縣普溪縣新縣及安福縣トス就中福建ノ連城上杭、江西ノ河口鎮最モ著名ナリ左ニ吾人ノ視察シタル福建ノ連城及龍岩ニ於ケル製紙地方ノ概況ヲ陳フヘシ

三、連城龍岩ニ於ケル製紙地ノ概況

是等州縣ニ於ケル竹林ハ是等州縣ヲ圍繞シ斷斷スル所ノ南部福建ノ大山脈及其支脈中ニ起伏シ重疊セル諸山ノ斜面ニアリ故ニ製紙業者ハ是等諸山ノ溪谷中ニ散居シテ竹絲ヲ求メ以テ唐紙ノ製造ヲナス此山谷中ニ點在セル製紙庄名ハ龍岩方面ニ於ケル溪口、梧宅、梅村頭、高橋、橫坑、連城方面ニ於ケル大東溪、賴源鄉、東坑、小池、上東洋鄉、蒲竹溪、小金山、曾羅池、郭坑鄉、中欄鄉、小洋地、黃勝地、古白石、蕉溪、大朱地、上坪鄉其他十數鄉ニシテ孰モ交通不便ナル溪頭ニ立テリ是等各地ニ於ケル高度ハ海拔三千五百尺乃至八千尺ニシテ人民ハ三千五百尺乃至五千尺ノ地ニ住スルカ故ニ各郷庄ノ平均高度四千尺内外ニ達スト稱セリ吾人ノ推測スル所ニヨレハ殆ソト然ルモノノ如シ吾人ハ石礫ヲ零位トシテ左ノ如ク各地ノ高度ヲ推算セリ

高度推測表

自	至	距離	傾斜ノ度	高	昇
石礫	浦南	七十里	約五百分一	八六尺	石礫ニ對スル各地高度
浦南	嶺兜	六十里	約二百四十分一	四〇五尺	八六尺
嶺兜	華封	二十里	約百廿分一	三六〇尺	八五二尺
華封	漳平	百廿里	約百廿分一	一、六五六尺	二、五〇七尺
漳平	白沙	六十里	約二百四十分一	一八〇尺	二、六八七尺
白沙	溪口	六十里	約百廿分一	七二〇尺	三、四〇七尺
溪口	梅村	四十里	九十分一	七六八尺	四、一七五尺
梅村	梅村頭	三里	六十分一	一〇八尺	四、二八三尺

上ノ推測ニヨレハ殆ソト土人ノ言フ處ト大差ナキヲ以テ彼ノ公稱高度ハ依據トナスニ足ルヘシ竹林ハ是等地方ニ於ケル諸山ノ中腹、時トシテハ頂點ニ達シ四方ニ蜿蜒セリ其廣袤東西約百五十浬里南北約三百浬里ニ亘リ總面積十二萬頃(一頃約我九町内外)ニ達スト言フ是等各地ニ於ケル水質ハ頗ル良好ニシテ其量又々充分ナルモノノ如シ

四、竹ノ種類

前記各地ニ於ケル竹林ノ過半ハ禾本科ニ屬スル笹竹林ニシテ孟宗竹林モ亦タ尠カラス其他五三竹、龜用竹、苦竹及金竹等モ諸處ニ生育セリ孟宗林及其他ノモノハ多ク山脚及緩斜丘側等人家ニ近接セル地ニ生シ笹竹ハ常ニ其上部ナル山腹及丘頂ヲ蔽ヒ廣大ナル竹林帯ヲ形成セリ製紙ノ原料ニ供セラ

ルルモノハ孟宗竹ト註竹ノ二種ニ限レルモノナル由ニテ孟宗竹林ノ如キハ我京阪地方ニ於ケルカ如ク手入レシアレト註竹林ニ至リテハ唯ダ古竹ヲ伐除スル外別ニ手入レササト言フ然レトモ土地沃醜ナル故ニヤ註竹ノ大ナルモノハ徑約五寸ニ達スルモノアリ其普通ナルモノニ在リテモ徑約二寸五分乃至三寸四分ニ達セリ孟宗竹ニ至リテハ直徑二寸ニ下ルモノアルコトナシ

五、竹林ト樹林

木材ノ竹材ニ比シ用途多クシテ其備用大ナルト同時ニ價格高貴ナルノ故ヲ以テ樹林ハ竹林ニ比シ常ニ多クノ注意ヲ惹クモノナレトモ製紙地方ニ於テハ全ク之ニ反シ竹林ハ常ニ樹木林ヨリ多クノ注意ヲ惹クノミナラス時トシテハ樹林ハ竹林ノ妨害物トシテ厄介視セラルルコトアリ蓋シ舟筏ヲ通スルノ河川ナク荷車ヲ通スルノ道路ナキ運輸交通不便ナル山地ニアリテハ仮令松柏檜樺ノ木材アリト雖トモ運搬ノ方法ナク販賣ノ途ナクハ探テ薪材トナスニ非サレハ空ク朽腐セムル外他ニ之ヲ利用スルノ途ナシト雖モ竹林ニ至リテハ然ラス竹林ハ年々等々生ヌ探テ以テ食膳ニ上スヘク否ヲサレハ探テ之ヲ竹絲トナスヘシ竹絲ハ紙ノ原料ナリ之ヲ以テ紙ヲ製造スルハ輕敷ニシテ而モ高價ノ物品トナリ優ニ險道難路ノ運搬費ヲ支辨シ厘金落地出口稅等ノ諸稅ノ負擔ニ堪ヘ以テ其銷路ヲ南北各地ニ開クコトヲ得ヘシ是レ是等山地ニ於テ竹林カ樹林ニ比シ多クノ注意ヲ惹ク所以ナリ

六、竹林ノ收入

一頃約我九町歩内外ノ竹林ハ年々平均約千五百担一担ハ我百廿五斤ナリノ等ヲ與フ之ヲ以テ竹絲トナサハ正ニ二百五十担ヲ得ヘシ竹絲一担ノ價格ハ通常銀二元乃至二元三四毫ナルヲ以テ竹林一頃ノ

收入ハ三百元乃至三百五十元トナルヘシ是レ水田三十畝ノ收入ニ相當スルモノナリ若シ夫レ小作ニ附センカ即チ田圃ノ場合ト均シク其收穫ヲ折半スト、サレハ其收入ハ百五十元トナルヘシ其額小ナリト雖モ年々歳々永久ニ連續スル收入ナレハ斷續的收入ヲ與フル樹林等ノ到底及フ所ニ非スト言フ

七、竹絲ノ製造

唐紙ノ原料タル竹絲ノ製造ヲナスニハ二様ノ方法アリ一ハ石灰浸漬法ニシテ他ハ淡水浸漬法ナリ
(1) 石灰浸漬法 此方法ニヨリ得ル所ノモノヲ黃竹絲ト稱ス之ヲ製出スルニハ先ツ長十八尺幅十二尺深五尺内外ニシテ四壁及底邊ヲ石灰散トナセル浸漬池ノ築造ヲ要ス此浸漬池ハ一方上部ニ給水口ヲ有シ他方ノ下部ニ排水口ヲ有セリ之カ築造費ハ其幾何ヲ要スルカヲ詳悉セスト雖トモ土人ノ言ニヨレハ一担銀七毫ニ値スル石灰二十担乃至二十五担ト十二天ノ勞役ヲ要スト此池中ニ箒ノ發生後約六週日ヲ經テ其長約三丈四五尺ニ達スルモノヲ伐採シ更ニ長五尺内外ニ切斷シ裁割シテ約四十斤ノ束トナシテ池底ニ並列シ其上ニ箒毎担ニ付五斤ノ割ヲ以テ石灰ヲ散布シ更ニ其上ニ他ノ束ヲ並列シ石灰ヲ散布スルコト前ノ如クシ以テ池ニ滿シ水ヲ注入シ浸漬スルコト約七八週ニシテ水ヲ排シ束ヲ取出シ石灰滓ヲ排除シテ更ニ淡水ニ浸漬スルコト二三ヶ月ニシテ其肉部ノ腐敗スルヲ待テ之ヲ採リ出シ洗滌シ乾燥シテ製紙家ニ賣却スルモノトス之ヲ黃竹絲ト稱ス一担ノ等ハ約十二斤ノ黃竹絲ヲ生ヌ黃竹絲一担ノ價ハ銀二元三四毫ナルヲ普通トスト言フ淡水浸漬法 此方法ニヨリ得ル所ノモノヲ青竹絲ト稱ス之ヲ製出スルニハ先ツ溪邊其他貯水ニ適スル地ニ形狀廣狹不定ナル貯水池ヲ造リ箒ノ發生後約四五週ヲ經テ長サ二丈二三尺ナル頃ヲ

六
窺ヒ之ヲ伐採シ更ニ長五尺内外ニ切斷シ裁割シテ此池中ニ投シ浸漬スルコト約二ヶ月ニシテ其
肉部ノ腐敗スルヲ待テ採出シ洗滌シ乾燥シテ製紙家ニ賣却スルモノトス之ヲ青竹絲ト稱ス一担
ノ重ハ約十斤ノ青竹絲ヲ與フ青竹絲一担ノ價格ハ銀二元内外ナルヲ普通トスト言フ
竹絲ノ製造ハ農家ノ副業トシテ農氏之ヲナシ製紙家ニ賣却ス製紙業者自ラ製造スルコトアリト雖モ
其量極メテ少量ニシテ大部分ハ皆農家ノ製出ニ係ルモノナル由

八、唐紙ノ製造

竹絲ヲ以テ上等唐紙ヲ製造スルニハ左ノ工程ヲ要ス
(一) 熟料竹絲ノ製造(黃竹絲ハ此工程ヲ要セス)
(二) 白料竹絲ノ製造(包裝用唐紙ハ此工程ヲ要セス)
(三) 竹絲ノ破碎
(四) 紙ノ抄出及乾燥
(五) 整理包裝

(一) 熟料竹絲ノ製造
熟料竹絲ヲ製造スルニハ先ツ青竹絲ノ束ヲ方形ニ並列シ之ニ石灰ヲ竹絲百斤ニ付十斤ノ割ニテ散布
シ其上ニ竹絲ヲ前ノ如ク並シ石灰ヲ散布スルコト前ノ如ク更ニ其上々々十餘層積累テ大約十日
間放置シ後之ヲ煮沸槽ニ移シ煮沸スルコト約一晝夜放冷スルコト一兩日ニシテ之ヲ取り出し洗滌池
ニ移シ屢次水ヲ入換ヘテ洗滌スルモノトス如斯クテ得タルモノヲ熟料竹絲ト稱ス包裝用唐紙ハ此竹

絲ヲ以テスレトモ上等唐紙ヲ製造スルニハ第二ノ煮沸ヲ要ス
煮沸槽 竹絲ヲ煮沸スル槽ハ三寸厚ナル松板若クハ檜板ヲ以テ組成セラレタルモノニシテ其口徑五
六尺深サ十尺内外アリ槽底ハ竈頂ヲ兼ムルモノニシテ鐵製ナルアリ石材及石灰鐵製ナルアリ槽壁ハ
全部石灰鐵ニシテ構築願ル頑固ナリ槽ノ容量ハ青竹絲ニ在リテハ二十担内外熟料竹絲ニアリテハ四
五十担ナリト而シテ煮沸槽一個ノ築造費ハ三十五元乃至四十元ヲ要スト言フ
洗滌池 洗滌池ハ常ニ煮沸槽ニ接近シテ築造セラレルモノニシテ其長二丈四尺幅一丈八尺深四尺内
外ナルヲ普通トス四壁皆石灰鐵ニシテ底邊ハ石ヲ敷キ其間ヲ石灰鐵トセリ池ノ一方ニハ六個ノ水栓
一列ニ並列シ以テ水渠ニ接続ス之ヲ給水口トス他ノ一方ニハ六個ノ水栓上下二列ニ併列セリ之ヲ排
水口トス煮沸シタル竹絲ハ此中ニ於テ洗滌セラル洗滌池ノ構築費ハ其幾何ナルカチ詳悉セスト雖モ
製紙家ノ言ニヨレハ一担七毫ヲ價スル石灰約二十担ト二十天内外ノ勞役ヲ要スト言フ

(二) 白料竹絲ノ製造

一回煮沸シ洗滌シタル熟料竹絲又ハ黃熟絲ハ再ヒ煮沸槽ニ移サレ第二ノ煮沸ニ從フ此場合ニ於テ竹
絲ハ大ニ柔軟トナリ且ツ多量ノ水分ヲ含有スルカ故ニ之ヲ全面ニ堆積スル時ハ上部ニ熱ヲ傳フルコ
ト遲緩ナルヲ以テ六本乃至十本ノ周六七寸長三四尺許ノ杉丸太ヲ立テ此間ニ竹絲ヲ堆積シ下部ヨリ
上部ニ貫通スル孔ヲ造ルモノトス且ツ此煮沸ノ目的ハ前ノ煮沸ニ於テ鐵絲ニ附着セル夾雜物ヲ除去
シ煮熟清淨シタル鐵絲ヲ漂白スルニアレハ槽内ニ一層ヲ積ム毎ニ補液(補液ニニ規ト言フ支那曹
達ノコトナリ)ヲ注キ充分吸收セシメツツ順次積累スルモノトス竹絲槽ニ滿レハ直チニ加熱ニ取掛
リ大約一晝夜煮沸スレハ一兩日放冷シテ之ヲ洗滌池ニ移シ充分洗滌シタル後之レヲ漂白池ニ移スモ
七

ノトス如斯シテ得タルモノヲ白料竹絲ト稱ス百斤ノ青竹絲ハ約五十五斤ノ白料竹絲ヲ生ス白料竹絲
 每一担ノ價ハ六元乃至六元五角ナルヲ普通トスル由
 漂白池 漂白池ハ長十八尺幅十二尺深サ五尺ヲ普通トス四壁及底面ハ皆石灰酸ニシテ下部ニ直徑三
 寸許ノ排水口一個ヲ有シ洗滌池ノ如ク給水口ヲ有セス蓋シ給水口ヨリ水ハ壁ヲ傳ヒテ流ルルニ
 ヨリ池中ニ堆積セル竹絲ノ脚部ノミヲ洗滌シテ全面ヲ洗フコト能ハサルユヘナリサレハ漂白池ノ給
 水ニハ各家必ス竹筒ヲ用ヒ之ニヨリテ竹絲ノ直上ニ水ヲ落下セシメ以テ全面ヲ洗滌セシム漂白池一
 個ノ築造ニハ一担七毫ヲ價スル石灰約二十担ト十三天ノ勞役ヲ要スト言フ

(三) 竹絲ノ破碎

熟料竹絲若クハ白料竹絲ノ製造ニ續テセラルヘキ工程ハ織緯ノ破碎ナリ此工程ハ機械製紙ニ於ケル
 ビーターノナスヘキ仕事ニシテ藩人ハ通常木板上ニテ織緯ノ長キモノヲ細切シテ後石臼ヲ以テ之ヲ
 挽碎キ細微ナル織毛トナセリ厚紙ハ細微ナル此織毛ヲ以テ製出セラルルモノナリ織毛百斤ニ對スル
 工費ハ大約銀一元内外ナリト

(四) 紙ノ抄出及乾燥

紙ノ抄出ニ要スル器具ハ本邦手漉ニ用ユルモノト大差ナクシテ稀釋槽、水槽、攪拌器、簾、鑪、
 簾架、紙受臺、壓榨器其他二三ニシテ至極簡單ナルモノナリ是等器具ノ大サハ所製ノ紙ノ種類ニ
 大小一定セス假令ハ高連紙及券紙ノ抄出ニ要スルモノハ長四尺五寸幅二尺一二寸ノ簾ヲ要シ其他
 ノモノヲシテ之ニ相應セル大サヲ有セシム貢紙ノ抄出ニハ長二尺七寸幅二尺内外ノ簾ヲ要スルカ
 故ニ其他ノモノヲ之ニ相應セシム是等ノ器具ヲ調達スルニハ職工一人分(簾ハ二枚壓榨器ヲ除ク)銀

六元乃至十元ヲ要スト言フ紙ヲ抄出スルニハ先ツ竹織毛ヲ槽中ニ投シ少量ノ糊ト水トヲ入レ適度ニ
 之ヲ稀釋シテ後簾ヲ以テ抄出スルモノニシテ其方法本邦舊時ノ抄紙法ト異ナルコトナシ抄出ノ速度
 ハ貢紙ニアリテハ一日平均六百四十葉ヲ普通トシ連紙ニアリテハ四百八十葉ヲ普通トスル由吾人ノ
 實見セシ所ニヨレハ貢紙ハ每十分間ニ九葉乃至十一葉連紙ハ六葉乃至八葉ヲ示セリ故ニ一時間ノ速
 度ハ五十四乃至六十六葉連紙ハ三十六葉乃至四十八葉トナルヘシ而シテ小形貢紙ノ抄出ハ尙ホ迅速
 ニシテ一日千葉ニ達スト言フ如斯抄出セシ紙ハ一晝夜壓搾セラレテ後乾燥セラルルモノトス
 乾燥 唐紙ノ乾燥法ハ内地ニ於ケルカ如ク日乾ニ非スシテ乾燥器ニ貼付シテ温乾スルニアリ乾燥器
 ハ高六尺長十八尺乃至二十四尺ノ斷頂楔形ヲナセルモノニシテ三四分厚ノ檜板若クハ杉板ヲ以テ作
 テレ其内外兩面ニ石灰ヲ塗布シタルモノナリ乾燥器左右兩壁ノ間隔ハ下部二尺五寸乃至三尺上部一
 尺内外ナリ抄出セシ所ノ紙ヲ此器ノ兩側ニ貼付シ器中ニ炭火ヲ入レ之ニ木屑又ハ穀皮ヲ投シテ徐
 々ニ加温シ乾燥セシムルモノトス各製紙場ハ如此乾燥器四個乃至六個ヲ有ス一個ノ乾燥器カ一回ニ
 乾燥スル紙數ハ三十六葉乃至四十八葉ニシテ一日十五回反覆スト言フ
 賃銀 高連ノ抄出及乾燥ニ要スル賃銀ハ百枚ニ付銀二毫ニシテ抄出職工ト乾燥工之ヲ折半ス貢紙ニ
 在リテハ每一百枚十二仙乃至十三仙ニシテ抄乾兩工之ヲ折半スト言フ要スルニ清國ニ於ケル賃銀ノ
 支給ハ日時ヲ以テ算セスシテ其擔當成功セシ業務ノ分量ニヨリテスルヲ通則トスルカ故ニ本邦ニ於
 ケルカ如ク一日若クハ一ヶ月幾何ト稱スル賃銀アルコトナシ

(五) 整理及包裝

乾燥シタル唐紙ハ先ツ其數ヲ銅ヘ一刀毎ニ界斷ヲ付シテ堆積シ後之ヲ一刀ツツ取出シ縁邊ヲ切斷シ

或モノハ二分三分若シクハ四分斷シテ抄出セシ一刀ヲ二、三、四刀トナシ之ニ自家ノ付シタル銘印及家號印等ヲ押捺シ適當ノ大サニ折リ紙ノ種類ニ從ヒ五刀、八刀、十六刀、廿刀、又ハ二十五刀ヲ以テ一束トシ其二束ヲ取リ竹葉ヲ布キタル竹箒ヲ以テ包裡スルモノトス一篋ノ刀數ハ高連券紙及手本紙ニ在リテ八十刀貢川洋格及桐格ニ在リテハ三十二刀貢刈ニ在リテハ四十刀刈信及和祠ニ在リテハ五十刀ナルヲ普通トス何レモ一篋ヲ以テ一擔トス其重量ハ紙ノ種類ニヨリ一定セス唐紙一擔ニ對スル整理包裝費ハ大約銀二毫乃至三毫ナリト言フ

九、唐紙ノ種類

連城龍岩地方ニ於テ製出スル唐紙ノ種類左ノ如シ
 (一) 連紙類 此内ニハ廣東庄大高連(長四尺三寸巾一尺九寸)同小高連(長四尺五寸巾一尺七寸)金線高連(長四尺二寸巾一尺七寸)券紙(長四尺三寸巾一尺九寸)手本紙(長四尺四寸巾二尺四寸五分)潮州碑庄(長四尺五分巾一尺七寸)潮州庄大高連(長四尺一寸七分巾一尺七寸五分)小高連(長三尺七寸巾一尺六寸)等ノ各種アリ何レモ九十六葉ヲ一刀トシ二十刀ヲ一擔トスレトモ紙質ノ厚薄、形ノ大小ニヨリ重量ハ一定セス
 (二) 貢紙類 此内ニハ福建省庄及漳州庄貢川紙(長二尺八寸巾二尺三寸)桐格紙(長同上巾同上)淨格紙(長二尺七寸巾二尺二寸)貢刈紙(長二尺七寸五分巾二尺一寸)刈信紙(長二尺七寸巾二尺一寸)及和祠(長二尺一寸巾二尺五寸)等ノ別アリ何レモ百二十六葉ヲ以テ一刀トスレトモ一擔ニ對スル刀數ハ同シカラス前三者ハ各六十四刀ヲ以テ一擔トナシ貢刈ハ八十刀ヲ以テ一擔ト

ナシ後二者ハ百刀ヲ以テ一擔トナス共ニ原紙ヲ二分若シクハ三分シタルモノナレトモ稱リ和祠ハ原形ヲ有ス其重量ハ同一貢川紙ニ於テモ加厚又タハ加高等ノ銘ヲ有スルモノハ重ク普通ノモノハ輕キニ由リ各種各別ナリ貢紙ノ最モ厚キモノハ大秤ノ七十六斤普通ノモノハ五十六斤薄キモノハ四十八斤最モ薄キモノハ僅々四十二斤ニ過キス
 (三) 包紙類 此内ニハ茶包内館紙及外館紙、監國內館煙紙及外館煙紙等ノ別アリ其大サ和祠及貢紙ニ同シ包紙ハ惣テ四百葉ヲ以テ一刀トナシ五刀ヲ以テ一束トナシ二束ヲ以テ一合トス其重量九十斤乃至百四十斤ニ至ル

十、唐紙ノ山地ニ於ケル價格

產地附近ノ紙行(紙問屋)ニ於ケル各種唐紙ノ價格大約左ノ如シ

廣東庄大高連紙	每担二十刀六十四斤	一擔	銀十三元乃至十四元
廣東庄小高連紙	同 同	一擔	銀十元乃至十一元
潮州庄大高連紙	同 同	六十斤	同十一元乃至十二元
同 小高連紙	同 同	四十八斤	同九元内外
加厚高貢川紙	同 同	六十四刀七十六斤	同十五元内外
貢川紙	同 同	六十四斤	同十三元内外
桐格紙	同 同	同	同十三元乃至十四元
加厚高桐格紙	同 同	七十六斤	同十六元内外

洋格紙 每担二十六万四千八百斤 同 同九元内外
 貢刈紙 同 八万四千八百斤 同 同九元内外
 刈信紙 同 百斤四十八斤 同 同八元乃至九元内外
 和紙 同 同 四十二斤 同 同九元内外
 包紙 類 每合十斤百二十斤 同 同十一元乃至十二元

備考 前掲記セル價格表中ノ元ハ七元ニシテ弗銀ニ對シ每一元ニ付七仙ノ加水ヲ要スル低位ノ元ナリ七元ハ常ニ小銀貨ヲ代表ス

十一、唐紙ノ海口ニ出ツル運賃及厘金

唐紙カ其生産地ヨリ汕頭厦門及福州等ノ海口ニ出ツル迄ニ要スル運賃其他ノ諸掛費ハ各種共ニ每百斤ニ付大約四元内外ヲ要ス即チ左ノ如シ

自大東溪至溪口	挑夫	二天	六毫乃至七毫
自溪口至白沙	挑夫	二天	三毫五仙
自白沙至漳平	挑夫	二天	三毫八仙
自漳平至華封	水脚	一天	二毫四仙
自華封至嶺兜	挑夫	一天	四毫五仙
自嶺兜至浦南	挑夫	半天	一毫八仙
自浦南至石碼	水脚	一天	二毫五仙
	同	一天	一毫八仙

自石碼至厦門 同 一天 一毫五仙
 白沙華封及浦南石碼厘捐計庫平三錢六分即七百廿文(約龍八百文) 九毫
 浦南挑力及紙行抽 五毫
 計 厦門港面著 三元七毫三仙乃至三元九毫

自喬溪及厚洋鄉至汀州	挑夫	二天	七毫
自汀州至上杭	水脚	二天	七毫
自上杭至茶市	同	一天	二毫五仙
自茶市至大埔	同	半天	一毫五仙
自大埔至潮州	同	三天	八毫
自潮州至汕頭	同	一天	一毫五仙
汀州茶市及潮州厘捐計二錢七分(每兩二千文龍八百文) 六毫七仙五			
計 汕頭著 三元四毫二仙五			
自大東溪賴鄉至姑田	挑夫	二天	七毫
自姑田至小陶	同	一天	二毫五仙
自小陶至永安	水脚	一天	二毫五仙
自永安至延平	同	二天	四毫五仙
自延平至福州	同	四天	八毫五仙
自水口、延平、永安及小陶厘捐庫平三錢六分即一千八百八十文(龍銀值千二百文) 九角			

計 福州着

十二、唐紙ノ産額

三元四角

一四

連城及龍岩ニ於ケル上等唐紙ノ産額ハ頗ル多量ニシテ十數萬担價額百數十萬元ニ上ルト言フ高連及貢紙ノ概數左ノ如シ

高洋	三十五槽	每槽百五十担	五、二五〇元
郭坑	四十槽	同	六、〇〇〇元
劉壠	四十槽	同	六、〇〇〇元
華坑	二十槽	同	三、〇〇〇元
中壠	二十槽	同	三、〇〇〇元
大小洋及地鄉	三十四槽	同	五、一〇〇元
新庄及嶺兜	二十五槽	同	三、七五〇元
其他	八十七槽	同	三、〇五〇元
計	三百一担		四、五〇〇元
貢紙類			四、五〇〇元
大東溪	二十六槽	每槽百二十担	三、二〇〇元
源鄉	十九槽	同	二、八〇〇元
梧宅及梅村	六十五槽	同	七、八〇〇元

梅村頭	二十五槽	同	三、〇〇〇元
高橋及橫坑	四十槽	同	四、八〇〇元
昭陽	二十槽	同	二、四〇〇元
其他	六十七槽	同	八、四〇〇元
計	二百六十二槽		三、八〇〇元

其他ノ諸紙ヲ製造スルモノニシテ古白石、羅勝地、黃勝地、古房樓、馬胡坑、山頭林鄉、河斜鄉、白沙及金家斜其他各地ニ散在セル槽數ハ二百九十八槽ニシテ每槽平均百二十担ヲ産スルモノトスレハ三萬五千七百六十担ノ紙ヲ産スヘシ其價格ヲ平均九元ト見レハ三十二萬千八百四十元トナルヘシ之ニ前掲連紙及貢紙ノ産額ヲ合計スレハ大約十一萬二千七百七十担價額百九萬千三百四十元トナルヘシ是唯々連城ト龍岩ト一部ニ於ケル上等唐紙ノ産額ヲ示シタルノミナレハ唐紙ノ全産額ニハ非ラサルナリ若シ夫レ福建全省ニ於ケル唐紙及粗唐紙ノ産額ヲ舉ンカ將ニ五十萬担ヲ超ユルニ至ラン

十三、唐紙ノ將來

厘金稅ノ廢止ト運輸機關ノ改良セラレサル限リハ唐紙ノ需用ハ漸次減少シ其製造ハ將來ニ於テ衰微スルニ至ルヘシ然レトモ是レ全ク將來ニ屬スルコトニシテ現今ニ於テハ決シテ斯ル形跡ナキヲミナラス近時清國內地各部ニ於ケル學事獎勵ノ結果紙ノ需用大ニ増加シテ洋紙類ノ輸入増進ト共ニ唐紙ノ需用モ亦々増加シツツアリテ其産額ノ如キ十年前ニ倍徒セリト言フ然レトモ是レ唯々守舊的迷信的ヨリ來レド爾需用ニシテ其根底頗ル薄弱ナルモノナレハ歲月ノ推移スルト共ニ外氣ハ次第ニ彼等

一六
浸染シテ其所需其嗜好ヲ變移セシメ終ニ唐紙ニ對スル需用ヲ減少セシムルニ至ルヘシ蓋シ唐紙ノ生産費ハ上ニ掲クル如ク少額ニシテ其產地ニ於ケル價格頗ル低廉ナリト雖モ產地ヨリ海口ニ出クル迄ニハ上ニ掲クルカ如キ多額ノ費用ヲ負擔シ且ツ此海口ヨリ更ニ消費地ニ至ルマテノ諸費用ヲ負擔セサルヘカヲサレハ消費地ニ於ケル價格ハ少クトモ產地ニ於ケル價格ノ二倍以上ナルカ故ニ却テ洋紙類ニ比スレハ割高トナレハ到底低廉ニシテ美觀ナル洋紙類ト競争シ能ハサルナリ

十四、唐紙ノ輸出

福建産唐紙ノ輸出港ヲ汕頭、廈門及福州ノ三開港及ヒ石碼泉州ノ各港口、福寧ノ諸港等トス今三開港場ヨリ輸出セシ千八百九十年以來ノ數量ヲ擧レハ左ノ如シ

年	汕頭	廈門	福州
一八九八年	五三、二五三担	四二、六九五担	四五、〇五二担
一八九九年	六四、八九八担	三七、九四四担	四五、九一五担
一九〇〇年	八一、六一五担	四八、六四三担	一九、一〇五担
一九〇一年	八五、九九一担	四四、一三七担	三三、七〇七担
一九〇二年	八三、七四四担	四〇、〇九〇担	三七、三三三担
一九〇三年	七八、三〇七担	四五、二五二担	五七、七八〇担
一九〇四年	九五、一九二担	五〇、五九六担	五〇、二八八担
一九〇五年	二七、二四一担	四七、〇五九担	七六、九三〇担

前表ニ示スカ如ク千八百九十八年ニ於ケル汕頭外二港ヨリ輸出セシ量ハ十四萬二千担ナリシニ爾來年々増加シテ千九百五年ニ至リテハ三港ノ輸出額ハ合計二十五萬二千三百担トケレリ之ニ不開港ヨリ輸出セシモノヲ加フレハ其量一層増大スヘシ是唯タ唐紙ノ輸出ヲ擧タルノミナリ此外唐紙ヲ以テ作成セシ禮拜紙アリ禮拜紙ノ輸出額モ比較的少量ニシテ三港ノ輸出總量ハ正ニ十萬担内外ニ上ルヘシト雖トモ廈門ノ統計ヲ缺ケルカ故ニ正確ナル量ヲ示ス能ハス汕頭及福州ニ於ケル千九百一年以來ノ量ヲ示セハ左ノ如シ

年	汕頭	福州
一九〇一年	五六、一一担	一六、〇四四担
一九〇二年	五二、四八〇担	一八、七八四担
一九〇三年	五四、六八四担	一五、一九三担
一九〇四年	四八、五七八担	一三、二四七担
一九〇五年	五三、四九二担	一三、四四七担

上ニ掲記セル表ニヨリ汕頭外二港ヨリ輸出セラルル唐紙及唐紙製品ノ總量ハ千九百五年ニ於テ(廈門ヨリ輸出セシ禮拜紙ノ量ヲ除キ)三十一萬八千六百六十九担ト首ヘル多量ヲ示シ千八百九十八年ノ二十一萬三千五百五十五担ニ比スレハ約十萬五千餘担ヲ増加セルヲ見ルヘシ然ルニ近時諸國諸港ニ洋紙類ノ増加スルヲ見テ唐紙ノ需用減少或ハ唐紙製造業ノ衰退ナトトノ報告ヲ散見スト雖トモ是唯唐紙輸出ノ部分觀察ヲナシタル結果ニ外ナラスシテ唐紙ノ製造及需用ニ關スル現況ハ前掲輸出表ニ依テ推測スルコトヲ得ヘシ

十五、唐紙ノ製造經濟

竹絲ノ製造ハ農家ノ副業トシテサレ製紙家ハ皆之ヲ買ヒ入レ製造ヲナスモノニシテ其價格青竹絲ニ在リテハ每担二元内外黄竹絲ニアリテハ每担二元三四毫ナリト言フノ外得ル所ナキヲ以テ竹絲製造ニ關スル經濟ヲ陳フル能ハス故ニ茲ニハ唯槽戶及紙寮ノ經濟ヲ揭クヘシ

(一) 槽戶經濟

槽戶ハ青竹絲若クハ黄竹絲ヲ買入レ之ヲ煮沸シ漂白スルニ在リ其收支左ノ如シ

- 一 銀一百元
- 一 青竹絲五十担買入代
- 一 雜木薪千斤買入代
- 一 石灰五百斤代
- 一 漂白用棍(支那)百五十斤代
- 一 人夫二十九人賃銀

支出計 百三十五元三毫

一 同百五十元 每担銀六元ノ割白料竹絲二十五担 部留五割ノ計算

收入計百五十担也

差引十四元七毫 收支殘高(白料竹紙製造一回分ノ利益)

槽戶ノ收支殘高右ノ如クナリ此内ヨリ槽、洗滌池及漂白池修繕費及資本ノ利息ヲ引去リタルモノカ槽戶ノ純益トナルモノノ由ニテ終年續製スレハ最モ有利ノ業ノ如ク見ユントモ一ケ年僅カニ八九回

作業スルニ過キサレハ槽戶ノ利益ハ比較的僅少ナルモノナリト言ヘリ

(二) 紙寮經濟

紙寮ハ白料竹絲ヲ槽戶ヨリ每擔六元内外ノ價格ニテ買入レ之ヲ抽出工ニ渡シテ抄製乾燥セシム各種紙ニ對スル收支計算概略左ノ如シ

廣東庄大高連紙ノ收支

- 一 銀千四百十三元六毫
- 一 白料竹絲二百二十八擔代每擔六元二毫ノ割
- 一 竹絲碎破費每擔九毫ノ割
- 一 抄紙乾燥工賃銀每擔四元五毫ノ割
- 一 薪炭料及糊料費每擔二毫ノ割
- 一 整理包裝費每擔三毫ノ割
- 一 雜役夫賃銀
- 一 工場器具修繕費及他諸雜費
- 一 支出合計三千二百十四元八毫
- 一 六十四斤庄大高連紙三百擔代及租厚十擔代
- 一 但シ連紙每擔十二元粗紙每擔六元ノ割
- 一 銀三千六百六十元
- 一 收入計三千六百六十元
- 一 差引收支殘高四百四十五元二毫
- 一 一期間純益銀

銀千百十六元
 同百六十二元
 同九百六十七元六毫八仙
 同六十元
 同百八元
 同二十五元
 同七十一元
 支出合計二千五百九元六毫八仙
 銀二千九百二十八元

白料竹絲百八十擔代每擔銀六元二毫ノ割
 竹絲破碎工賃每擔九毫ノ割
 抄紙乾燥工賃每擔四元三仙二ノ割
 薪炭及糊料費每擔二毫五仙ノ割
 整理包裝費每擔四毫五仙ノ割
 雜役人夫賃
 工場器具修繕費其他
 六四乃庄六四斤貢紙二百四十擔及租厚八擔代
 但一貢紙十二元租紙六元ノ割

差引收支残高四百十八元三毫二仙
 製造經濟ニ關シ製紙家ヨリ聞き得タル所上ニ記スルカ如ク横濱ヲ以テモ今少シク詳細ナル調査ヲナサント欲シ調査夫試ミテトモ彼等ハ一概ニ吾人ヲ日本ヨリ來レル唐紙製造法研究者カリト認定シテ工場ノ觀覽及唐紙製法ニ關スル談話等ヲ嫌ヒ所ニヨリテハ日中工場ヲ閉鎖シテ休業中ナレバトテ其觀覽ヲ避ケタリ其嫌忌スル理由ヲ聞ケハ即曰ク日本人ハ模倣ヲ巧カリ而シテ機械ヲ有スルカ故ニ之ニ此地ノ製紙法ヲ知ラシメハ直チニ機械ヲ以テ之ヲ模造シ忽チ我々祖先傳來ノ業ヲ奪フヘケレバナリト如斯狀況ナルニ至ル到底充分ナル調査ヲ遂ゲル能ハスレテ飯來セルハ吾人

ノ頗ル遺憾トスル所ナリ
 十六、製紙地方ニ於ケル農産物

製紙地方ハ地貌ハ上ニ陳タルカ如ク是等山地ニ於ケル田圃ハ山脚丘陵緩斜山丘腹及丘頂等ニ散在セリ耕地ノ約四分ハ水田ニシテ他ノ六分ハ圃ナリ水田ノ灌溉用水ハ皆溝渠ニヨリテ溪流ヲ引ケリ米ハ一作ニシテ紅米過半ヲ占ム稻ノ植付ハ陽曆五月末ヨリ六月中旬ノ間ニナサレ十月ニ收穫セラル水田一畝(我九畝内外)ノ産額ハ四擔乃至五擔ナルヲ普通トシ六擔以上ナルヲ上作トスト言フ畑作物ノ首位ニアレモノハ甘藷ニシテ稷、黍、玉蜀黍之ニ亞ク大麥及小麥ノ産モ尠カラスト言フ故ニ山地住民ノ主食物ハ米、甘藷、稷、黍、麥等ニシテ農民ハ主トシテ甘藷、黍及麥ヲ食シ時ニ米粥ヲ食ス製紙業者及其職工並ニ挑夫ハ主トシテ米ヲ食シ時々甘藷其他ヲ食ス是等山地ニ於ケル米價ハ比較的高貴ニシテ一擔三元内外ヲ値シ永定龍岩地方ニ比スレハ約五割ノ高價ヲ保テリ故ニ龍岩地方ノ米ハ多ク是等地方ニ輸入セラル龍岩ヨリ村ニ至ル米一擔ノ運賃ハ約銀九毫ヲ要スト言フ如斯他地方ニ食料米ノ供給ヲ仰クカ如キ狀勢ノ下ニアルカ故ニ農産物トシテ他地方ニ輸出スヘキモノ一トシテアルコトナク只管紙ノ輸出ニヨリテ地方ノ經濟ヲ維持シツツアルモノナレハ紙ノ製造ハ山地ニ於ケル最大重要ノ産業トナリ農牧業ノ如キハ之カ附帶業タルノ觀アリ

十七、製紙地方ニ於ケル物價

製紙地方ニ於ケル物價ハ大約左ノ如ク

玄米	同上	百斤	三元三毫
白米	同上	百斤	三元乃至三元一毫
甘薯	同上	同	三元九毫
白薯	同上	同	三元六毫
鹹魚	同上	同	八毫
豚肉	同上	同	十二文
生鴨	同上	同	三十五文
生雞	同上	同	二毫三仙
鹽卵	同上	同	二毫二仙
生菜	同上	同	一毫七仙
石炭	同上	同	九文
同	同上	同	十二文
同	同上	同	八文
同	同上	同	七毫
同	同上	同	五毫八仙
同	同上	同	六斤
同	同上	同	七斤半
同	同上	同	九十文

土布	一尺	四十八文
洋白布	一尺	九十八文
細夏布(等麻布)	一尺	七十文
挑夫布	一天	四十文
奴工	一天	三毫五仙
同	一天	二毫(食在內)
洋火(燐寸)	一個	八十文(食履主持)
菜油	一斤	五文
水油	一斤	一毫五仙
豆油	一斤	一毫六仙
寧波草	一領	二毫五仙

十八、製紙地方ニ於ケル衡器

是等地方ハ一般ニ九九八天平秤ヲ使用ス其百斤ハ我九十九斤半ニ相當ス此外ニ大秤アリ一ナ巨切秤(十八刃秤)ト稱シ他ナ計刃秤(二十刃秤)ト呼ビ又夕出水秤トモ稱ス前者ハ青菜果物ヲ秤スルニ用ヒ後者ハ薪炭、竹絲等ヲ秤スルニ用ユ

十九、製紙地方ニ於ケル貨幣

二四

製紙地方ニ於ケル標準元銀ヲ臨江銀及欸元トス共ニ毫仔ヲ代表シ地方ノ標準貨幣トナル花邊此地
方ニテハ弗銀ヲ花邊ト呼フ即チ洋元ハ此對及元ニ對シテ常ニ七錢五分ノ標準價格ヲ有シ是等地方
ニ於ケル主要ノ通貨トナレリ銅元即一仙銅貨ノ流通ヲ許ササレトモ紫銅錢即一厘錢ハ各地ニ歡迎セ
ラレテ是等地方ニ於ケル主要ノ補助貨トナレリ紫銅錢ハ對シ八錢三三ノ標準價ヲ有シ花邊一個
ニ九百文毫仔一個ニ八十四文ノ比價ヲ有セリ是等地方ニ流通セル主要ナル洋元ヲ龍銀、光島、波光
ノ三種トス就中龍銀尤モ歡迎セラル龍銀ハ日本ノ一圓銀ニシテ光島ハ墨銀波光ハ新嘉坡一圓銀ナリ



明治四十二年三月三十日印刷
明治四十二年三月卅一日發行

臺灣總督府民政部殖產局

印刷人 臺北北門外街二丁目廿七番戶
中島庸一

印刷所 臺北北門外街二丁目廿七番戶
株式會社臺南新報社臺北支局